

科目情報

科目名	研究論文	クラス	01
担当教員	秋山 孝信	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 5	単位区分	選
講義室	3135	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 言語現象に関して分析価値のある問題を論文の主題として設定することができる。 2. 先行研究を批判的に検討し、その問題点を指摘することができる。 3. 言語理論に基づき、また言語データを分析して、問題に対する解決策を論理的に述べることができる。 4. 自ら立てた仮説を批判的に吟味して、その妥当性を高めることができる。 対応 DP 及び CP : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では、言語現象に関して自ら立てた問いに対して理論と実証の両面から解決策を論じて、研究論文を完成させます。前期は、論文の主題として設定した問いの妥当性を検証し、先行研究を批判的に（客観的で公平な観点で）吟味します。さらに、コーパスなどのデータを用いて分析対象とした言語現象の特徴を広範囲に探ります。後期は、言語理論と分析したデータに基づいて、自ら立てた仮説を批判的に吟味し、その妥当性を高めていきます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	主題の設定と検証	4 年次開始前に立てた研究論文のトピック（言語現象に関する問い）が論文の主題として妥当かどうか（論じる価値があるか、年度内に解決策を提出できそうか等）について検討します。 【事前学習】2 時間：可能な限り関連するテーマの論文を調査し、どのような分析が行われているのかを確認する。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 2 回	研究計画の立案	言語現象に関する先行研究を概観し、その構成を吟味します。その後、研究論文執筆作業の流れについて確認・討議を行います。 【事前学習】2 時間：Google Classroom より先行研究例をダウンロードして、特にその構成に注意して読んでくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 3 回	先行研究の批判的分析 （1）	テーマに関連する先行研究を批判的に分析します。設定した問いに対して、どこまでが解決されていて、どこからが未解決であるのかについて考えます。 【事前学習】2 時間：関連するテーマの論文を調査し、どのような分析が行われているのかを確認する。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 4 回	先行研究の批判的分析 （2）	テーマに関連する先行研究を批判的に分析します。設定した問いに対して、どこまでが解決されていて、どこからが未解決であるのかについて考えます。 【事前学習】2 時間：関連するテーマの論文を調査し、どのような分析が行われているのかを確認する。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 5 回	先行研究の批判的分析 （3）	テーマに関連する先行研究を批判的に分析します。設定した問いに対して、どこまでが解決されていて、どこからが未解決であるのかについて考えます。 【事前学習】2 時間：関連するテーマの論文を調査し、どのような分析が行われているのかを確認する。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 6 回	先行研究の批判的分析 （4）	テーマに関連する先行研究を批判的に分析します。また、複数の先行研究における主張の類似点、対立点を纏めていきます。 【事前学習】2 時間：関連するテーマの論文を調査し、どのような分析が行われているのかを確認する。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 7 回	先行研究の批判的分析 （5）	テーマに関連する先行研究を批判的に分析します。また、複数の先行研究における主張の類似点、対立点を纏めていきます。 【事前学習】2 時間：関連するテーマの論文を調査し、どのような分析が行われているのかを確認する。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 8 回	先行研究の批判的分析 （6）	テーマに関連する先行研究を批判的に分析します。また、複数の先行研究における主張の類似点、対立点を纏めていきます。 【事前学習】2 時間：関連するテーマの論文を調査し、どのような分析が行われているのかを確認する。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。

第 9 回	言語データの収集と分析 (1)	広告、新聞記事、文学作品、コーパスなどから言語データを収集し、先行研究の主張に対する反証例を検討します。また分析対象とした言語現象の特徴を探ります。 【事前学習】2 時間：テーマとして取り上げた言語現象に関する言語データを収集し、理論と照らし合わせて可能な限り分析してくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 10 回	言語データの収集と分析 (2)	広告、新聞記事、文学作品、コーパスなどから言語データを収集し、先行研究の主張に対する反証例を検討します。また分析対象とした言語現象の特徴を探ります。 【事前学習】2 時間：テーマとして取り上げた言語現象に関する言語データを収集し、理論と照らし合わせて可能な限り分析してくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 11 回	言語データの収集と分析 (3)	広告、新聞記事、文学作品、コーパスなどから言語データを収集し、先行研究の主張に対する反証例を検討します。また分析対象とした言語現象の特徴を探ります。 【事前学習】2 時間：テーマとして取り上げた言語現象に関する言語データを収集し、理論と照らし合わせて可能な限り分析してくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 12 回	言語データの収集と分析 (4)	広告、新聞記事、文学作品、コーパスなどから言語データを収集し、先行研究の主張に対する反証例を検討します。また分析対象とした言語現象の特徴を探ります。 【事前学習】2 時間：テーマとして取り上げた言語現象に関する言語データを収集し、理論と照らし合わせて可能な限り分析してくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 13 回	言語データの収集と分析 (5)	広告、新聞記事、文学作品、コーパスなどから言語データを収集し、先行研究の主張に対する反証例を検討します。また分析対象とした言語現象の特徴を探ります。 【事前学習】2 時間：テーマとして取り上げた言語現象に関する言語データを収集し、理論と照らし合わせて可能な限り分析してくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 14 回	中間報告会 (1)	前期に行った研究の成果を報告します。ゼミ内での討議をとおして夏季休暇中の研究課題を洗い出します。 【事前学習】2 時間：論文のテーマとして取り上げた問いの妥当性を明確にしておき、これまでに判明したこと、考察したことを発表できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 15 回	中間報告会 (2)	前期に行った研究の成果を報告します。ゼミ内での討議をとおして夏季休暇中の研究課題を洗い出します。 【事前学習】2 時間：論文のテーマとして取り上げた問いの妥当性を明確にしておき、これまでに判明したこと、考察したことを発表できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間：教員の説明・ゼミ内の討議をとおして得た知見をまとめて、理解を深めておくこと。
第 16 回	論文執筆状況の報告 (1)	論文の執筆状況を報告するとともに、主張点を自ら批判的に検討します。 【事前学習】2 時間：収集したデータを理論に照らし合わせて、論文を書き進めてくること。

		【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 17 回	論文執筆状況の報告 (2)	論文の執筆状況を報告するとともに、主張点を自ら批判的に検討します。 【事前学習】2 時間：収集したデータを理論に照らし合わせて、論文を書き進めてくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 18 回	論文執筆状況の報告 (3)	論文の執筆状況を報告するとともに、主張点を自ら批判的に検討します。 【事前学習】2 時間：収集したデータを理論に照らし合わせて、論文を書き進めてくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 19 回	論文執筆状況の報告 (4)	論文執筆状況を報告するとともに、主張点を自ら批判的に検討します。 【事前学習】2 時間：収集したデータを理論に照らし合わせて、論文を書き進めてくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 20 回	論文執筆状況の報告 (5)	論文執筆状況を報告するとともに、主張点を自ら批判的に検討します。 【事前学習】2 時間：収集したデータを理論に照らし合わせて、論文を書き進めてくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 21 回	論文執筆状況の報告 (6)	論文執筆状況を報告するとともに、主張点を自ら批判的に検討します。 【事前学習】2 時間：収集したデータを理論に照らし合わせて、論文を書き進めてくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 22 回	論文執筆状況の報告 (7)	論文執筆状況を報告するとともに、主張点を自ら批判的に検討します。 【事前学習】2 時間：収集したデータを理論に照らし合わせて、論文を書き進めてくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 23 回	論文執筆状況の報告 (8)	論文執筆状況を報告するとともに、主張点を自ら批判的に検討します。 【事前学習】2 時間：収集したデータを理論に照らし合わせて、論文を書き進めてくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 24 回	論文執筆状況の報告 (9)	論文執筆状況を報告するとともに、主張点を自ら批判的に検討します。 【事前学習】2 時間：収集したデータを理論に照らし合わせて、論文を書き進めてくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 25 回	論文執筆状況の報告 (10)	論文執筆状況を報告するとともに、主張点を自ら批判的に検討します。 【事前学習】2 時間：収集したデータを理論に照らし合わせて、論文を書き進めてくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 26 回	議論における首尾一貫性の検討	論文全体の議論における首尾一貫性を検討します。各主張点に矛盾がないか、主張の流れに整合性があるかなどについて確認していきます。 【事前学習】2 時間：これまで書き進めたところを読み通し、首尾一貫した議論ができているかどうかを確認してくる。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加

		筆修正を行うこと。
第 27 回	最終校正について	執筆している論文が、研究論文として認められる形式に合っているのかどうかについて細かく確認していきます。 【事前学習】2 時間：論文内の形式に注意を払い、誤りがないか読み通してくること。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 28 回	研究成果の発表（1）	研究成果を発表し、ゼミ内で討議をすることによって、論文提出前に修正すべき点を洗い出します。 【事前学習】2 時間：研究成果をゼミ内で発表できるように準備をしていくこと。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 29 回	研究成果の発表（2）	研究成果を発表し、ゼミ内で討議をすることによって、論文提出前に修正すべき点を洗い出します。 【事前学習】2 時間：研究成果をゼミ内で発表できるように準備をしていくこと。 【事後学習】2 時間：教員の説明・討議をとおして得た知見に基づいて、加筆修正を行うこと。
第 30 回	総括	3 年間にわたるゼミ学習の総括を行い、このゼミで得た知識とスキルを今後の社会人生活でどのように役立てていくのかについて考えます。 【事前学習】2 時間：本ゼミナールでの学習活動を振り返り、どのような知識・スキルが身についたのかについて考えていくこと。 【事後学習】2 時間：社会に出てからどのように教養の幅を広げ、また深めていくのかについて考えてみる。

授業形式	
・授業形態は、「同時双方向型」で行います。 ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	1
評価の特記事項					
「レポート」とは、研究論文執筆における方法・手順の妥当性と完成した論文の達成度を指します。					

テキスト
ありません。
参考文献
授業内で指示します。
オフィスアワー
水曜日 11:00～12:00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
本講義では、言語理論と実証の両面から論文を組み立てていきます。毎回の進捗状況の報告では、どのような点に問題を抱えているのかを明らかにしておいてください。一年を通じて研究の楽しさを味わってほしいと思います。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	02
担当教員	伊佐敷 隆弘	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3114	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
このゼミの研究テーマは「哲学」である。哲学とは、「私たちの生活や学問の前提になっている根本的な概念（意識・時間・規範・記憶・意味・自由・物質」など）に関して、深い理解を得ることをめざす学問」である。このゼミでは、研究論文の執筆を通して、私たち自身と世界について哲学的に深い理解を得ることをめざす。 対応 DP 及び CP : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
参加者は自由な発想にもとづいて自分の考えを積極的に述べあい、「なぜそう考えるのか」を説明しあう。積極的な発言と自由な議論によって思考をきたえていく。そして、各自で研究テーマを決め、研究論文を執筆する。いくつかのグループに分けて、他のゼミ生の前で、経過報告をし、担当教員や他の学生からアドバイスをもらう。さらに、ゼミ生全員の前での中間報告を数回おこない、年度末には、最終報告をおこなう。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	研究論文の書き方に関する指導	論文の書き方、研究の進め方について教員が説明し、学生は疑問点について質問する。 【事前学習】2 時間。自分の研究テーマを確定しておく。執筆計画を立てておく。 【事後学習】2 時間。今回の授業内容を踏まえ、執筆計画を修正する。
第 2 回	研究論文のテーマの報告（A グループ）	受講生を三つのグループに分ける。受講生全員の前で、A グループの受講生が各自の研究テーマを説明し、他の受講生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究テーマに関する発表の準備をしておく。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、研究内容を修正する。
第 3 回	研究論文のテーマの報告（B グループ）	受講生全員の前で、B グループの受講生が各自の研究テーマを説明し、他の受講生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究テーマに関する発表の準備をしておく。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、研究内容を修正する。
第 4 回	研究論文のテーマの報告（C グループ）	受講生全員の前で、C グループの受講生が各自の研究テーマを説明し、他の受講生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究テーマに関する発表の準備をしておく。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、研究内容を修正する。
第 5 回	個別指導（A グループ）	A グループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 6 回	個別指導（B グループ）	B グループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 7 回	個別指導（C グループ）	C グループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 8 回	中間発表会	受講生全員の前で、各自が自分の研究の進展についてプレゼンをおこなう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文のプレゼン用原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、研究計画を修正する。
第 9 回	個別指導（A グループ）	A グループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 10 回	個別指導（B グループ）	B グループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 11 回	個別指導（C グループ）	C グループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。

第 12 回	中間発表会	受講生全員の前で、各自が自分の研究の進展についてプレゼンをおこなう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文のプレゼン用原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、研究計画を修正する。
第 13 回	個別指導（Aグループ）	Aグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 14 回	個別指導（Bグループ）	Bグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 15 回	個別指導（Cグループ）	Cグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 16 回	中間発表会（休み明け）	受講生全員の前で、各自が夏休みの間の研究の進展についてプレゼンをおこなう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文のプレゼン用原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 17 回	個別指導（Aグループ）	Aグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 18 回	個別指導（Bグループ）	Bグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 19 回	個別指導（Cグループ）	Cグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 20 回	中間発表会	受講生全員の前で、各自が自分の研究の進展についてプレゼンをおこなう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文のプレゼン用原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 21 回	個別指導（Aグループ）	Aグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 22 回	個別指導（Bグループ）	Bグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 23 回	個別指導（Cグループ）	Cグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 24 回	中間発表会	受講生全員の前で、各自が自分の研究の進展についてプレゼンをおこなう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文のプレゼン用原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、研究論文の内容を修正する。
第 25 回	個別指導（Aグループ）	Aグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。

		び他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 26 回	個別指導（Bグループ）	Bグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 27 回	個別指導（Cグループ）	Cグループの受講生が各自、論文の原稿を提示して、説明をする。教員および他の学生からの質問に答え、アドバイスをもらう。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 28 回	卒論発表会（Aグループ）	受講生全員の前で、Aグループの受講生が各自の研究論文の内容を発表する。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 29 回	卒論発表会（Bグループ）	受講生全員の前で、Bグループの受講生が各自の研究論文の内容を発表する。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。
第 30 回	卒論発表会（Cグループ）	受講生全員の前で、Cグループの受講生が各自の研究論文の内容を発表する。 【事前学習】2 時間。自分の研究論文の原稿を準備する。 【事後学習】2 時間。今回もらったアドバイスに基づき、原稿を修正する。

授業形式	
演習形式（ズームを利用する。新型コロナの状況とゼミ生の希望に応じて、対面授業をおこなう。） ただし、研究論文の原稿はメール添付でやりとりする。また、必要に応じて、授業日とは別にメールでも論文指導をおこなう。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	100%
評価の特記事項					
「レポート」というのは「研究論文」のことである。					

テキスト
各自の研究テーマに応じて異なる。教員から指示する。
参考文献
各自の研究テーマに応じて異なる。教員から指示する。
オフィスパワー
学生が教員にメールで連絡し、随時設定する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
研究論文は学生生活全体の集大成です。時期的に就活と重なりますので、早めに取り組み、自分自身が満足できる論文を完成させましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	03
担当教員	位田 将司	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	A11	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、「教養研究Ⅰ・Ⅱ」の成果を踏まえて「研究論文」を執筆できるようになります。先行研究・資料の調査、文献の提示法、注記の書き方等、「論文」を書く上で必要な知識を身に付け、「学術論文」を書くことができるようになります。大学での学問の成果を文章で表現できるようになることが、本ゼミナールでの目標です。 対応DP及びCP：1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールは「学術論文」を書くための知識を身に付けることを目的とします。先行研究・資料の調査、文献の提示法、注記の書き方等、「論文」を書く上で必要な知識をゼミ生で共有し、大学での集大成である「研究論文」を実際に作成していきます。一年間を通して、段階を踏んで無理なく「論文」が執筆できるよう、論文の概要を作り、「論文」の構想発表をおこないます。ゼミ生同士で各々の「論文」を講評し、よりよい「論文」へと発展させることとなります。最終的には「研究論文」として、大学でいう所の卒業論文に相当するテキストを執筆することとなります。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	「研究論文」とはどのようなものか、その位置づけを確認します。 【事前学習】2 時間 事前配布の資料を読んでおく。 【事後学習】2 時間 「研究論文」の構成を把握する。
第 2 回	論文題目及び目次の作成	「研究論文」の概要と目次を構想する。 【事前学習】2 時間 概要と目次の作成方法を資料で事前に確認する。 【事後学習】2 時間 実際に概要と目次を作成する。
第 3 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 4 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 5 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 6 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 7 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 8 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 9 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 10 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間

		ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 11 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 12 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 13 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 14 回	「研究論文」の構想発表	ゼミ生が各々の「研究論文」のテーマに基づいて構想発表をする。 【事前学習】2 時間 「研究論文」の構想発表用のレジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミでの議論を踏まえ、概要と目次の修正をする。
第 15 回	前期のまとめと後期の予定について	「研究論文」の構想発表の総括をおこない、その課題を確認します。そして、後期に「研究論文」を実際に作成する上での注意点を確認します。 【事前学習】2 時間 これまでの構想発表での課題点を具体的に確認する。 【事後学習】2 時間 「研究論文」を執筆するための具体的な行程を作成する。
第 16 回	「研究論文」の第二次構想発表	前期の構想発表で明らかになった課題を修正し、さらに具体的な構想発表をおこなう。 【事前学習】2 時間 前期の課題を踏まえ、新たに具体的な概要と目次を作成する。 【事後学習】2 時間 第二次構想発表での議論を踏まえ、具体的な「研究論文」の執筆にとりかかる。
第 17 回	「研究論文」の第二次構想発表	前期の構想発表で明らかになった課題を修正し、さらに具体的な構想発表をおこなう。 【事前学習】2 時間 前期の課題を踏まえ、新たに具体的な概要と目次を作成する。 【事後学習】2 時間 第二次構想発表での議論を踏まえ、具体的な「研究論文」の執筆にとりかかる。
第 18 回	「研究論文」の第二次構想発表	前期の構想発表で明らかになった課題を修正し、さらに具体的な構想発表をおこなう。 【事前学習】2 時間 前期の課題を踏まえ、新たに具体的な概要と目次を作成する。 【事後学習】2 時間 第二次構想発表での議論を踏まえ、具体的な「研究論文」の執筆にとりかかる。
第 19 回	「研究論文」の第二次構想発表	前期の構想発表で明らかになった課題を修正し、さらに具体的な構想発表をおこなう。 【事前学習】2 時間 前期の課題を踏まえ、新たに具体的な概要と目次を作成する。

		【事後学習】2 時間 第二次構想発表での議論を踏まえ、具体的な「研究論文」の執筆にとりかかる。
第 20 回	「研究論文」の第二次構想発表	前期の構想発表で明らかになった課題を修正し、さらに具体的な構想発表をおこなう。 【事前学習】2 時間 前期の課題を踏まえ、新たに具体的な概要と目次を作成する。 【事後学習】2 時間 第二次構想発表での議論を踏まえ、具体的な「研究論文」の執筆にとりかかる。
第 21 回	「研究論文」の具体的な形式について	タイトルの書き方、目次・本文の形式、注記の形式、参考文献の提示法など、「学術論文」の執筆に必要な具体的な知識を学び、実践につなげます。 【事前学習】2 時間 事前に配布する「学術論文」の書き方の資料を確認する。 【事後学習】2 時間 「研究論文」の正式な執筆方法を踏まえて、実際に執筆を始める。
第 22 回	「研究論文」の具体的な形式について	タイトルの書き方、目次・本文の形式、注記の形式、参考文献の提示法など、「学術論文」の執筆に必要な具体的な知識を学び、実践につなげます。 【事前学習】2 時間 事前に配布する「学術論文」の書き方の資料を確認する。 【事後学習】2 時間 「研究論文」の正式な執筆方法を踏まえて、実際に執筆を始める。
第 23 回	「研究論文」の具体的な形式について	タイトルの書き方、目次・本文の形式、注記の形式、参考文献の提示法など、「学術論文」の執筆に必要な具体的な知識を学び、実践につなげます。 【事前学習】2 時間 事前に配布する「学術論文」の書き方の資料を確認する。 【事後学習】2 時間 「研究論文」の正式な執筆方法を踏まえて、実際に執筆を始める。
第 24 回	「研究論文」の具体的な形式について	タイトルの書き方、目次・本文の形式、注記の形式、参考文献の提示法など、「学術論文」の執筆に必要な具体的な知識を学び、実践につなげます。 【事前学習】2 時間 事前に配布する「学術論文」の書き方の資料を確認する。 【事後学習】2 時間 「研究論文」の正式な執筆方法を踏まえて、実際に執筆を始める。
第 25 回	「研究論文」の具体的な形式について	タイトルの書き方、目次・本文の形式、注記の形式、参考文献の提示法など、「学術論文」の執筆に必要な具体的な知識を学び、実践につなげます。 【事前学習】2 時間 事前に配布する「学術論文」の書き方の資料を確認する。 【事後学習】2 時間 「研究論文」の正式な執筆方法を踏まえて、実際に執筆を始める。
第 26 回	「研究論文」の指導	ゼミ生が書いた「研究論文」の下書きをもとに論文指導をする。 事前学習】2 時間 「研究論文」を執筆する。 【事後学習】2 時間 ゼミ生や教員との議論を踏まえて、「研究論文」を修正する。
第 27 回	「研究論文」の指導	ゼミ生が書いた「研究論文」の下書きをもとに論文指導をする。 事前学習】2 時間

		「研究論文」を執筆する。 【事後学習】2 時間 ゼミ生や教員との議論を踏まえて、「研究論文」を修正する。
第 28 回	「研究論文」の指導	ゼミ生が書いた「研究論文」の下書きをもとに論文指導をする。 事前学習】2 時間 「研究論文」を執筆する。 【事後学習】2 時間 ゼミ生や教員との議論を踏まえて、「研究論文」を修正する。
第 29 回	「研究論文」の指導	ゼミ生が書いた「研究論文」の下書きをもとに論文指導をする。 事前学習】2 時間 「研究論文」を執筆する。 【事後学習】2 時間 ゼミ生や教員との議論を踏まえて、「研究論文」を修正する。
第 30 回	「研究論文」の最終確認	「研究論文」提出前の最終確認。 事前学習】2 時間 「研究論文」を執筆する。 【事後学習】2 時間 最終確認での議論を踏まえ「研究論文」を完成させる。

授業形式

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	30%	70%	100%
評価の特記事項					
「研究論文」がゼミで指定した形式通り執筆されているか、そして論文の内容がこれまでの研究の成果を反映しているかを、ゼミへの参画度と合わせて総合的に評価します。					

テキスト
ゼミ生と教員で話し合って決めます。
参考文献
適宜指示します。
オフィスアワー
火曜日：15：00～（必ず事前にアポイントを取ってください）
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
「研究論文」は大学での研究の集大成です。必ず完成させて提出してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	04
担当教員	卜部 勝彦	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 5	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、ゼミ生が以下の 1 ～ 5 の項目について達成できることを目標としている。 1. 日本の国土について地理学的な解釈や説明ができる。 2. 地域の産業・文化・景観・環境について地理学的な課題を設定し解決することができる。 3. 研究においてグループワークやチームワークによる課題解決ができる。 4. 地理学的分析結果を駆使してプレゼンテーションや報告書・論文等の執筆ができる。 対応 DP 及び CP:1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールでは、地表面の多様な地理的事象を多角的に分析・考察する地理学分野，または教職としての教科教育すなわち中学や高校の地理教育分野において，地域の産業・文化・景観・環境を“フィールドワーク”を主体に研究を行う。研究論文では，教養研究（二）で学修した地域研究の実践的な手法を応用させながら，各自が選定した事例対象地域における研究課題をフィールドワークを通して究明し、その成果である研究論文の完成を目的とする。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	地域研究のねらい	本年度のゼミナール年間計画や諸注意等のガイダンスから、個人による地域研究のねらいを学ぶ。 【事前学習】2 時間 教養研究（二）を振り返り、今年度のゼミに対する心がけを整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で講じた地域研究のねらいについて、再度フィールドワークの意義を復習しておく。
第 2 回	研究の構想	個人による本年度の地域研究について、大まかな構想を紹介する 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習しておくこと。
第 3 回	研究対象に関するアプローチ（1）	研究対象に関する文献調査およびその解題を行い、既往の研究動向について発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習するとともに、その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 4 回	研究対象に関するアプローチ（2）	研究対象に関する文献調査およびその解題を行い、既往の研究動向について発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習するとともに、その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 5 回	研究対象に関するアプローチ（3）	研究対象に関する文献調査およびその解題を行い、既往の研究動向について発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習するとともに、その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 6 回	研究の視点や方法に関する検討（1）	既往研究動向の分析を振り返り、研究論文の仮章立てを構成しながら本研究における独自の視点や方法を創出し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習するとともに、その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 7 回	研究の視点や方法に関する検討（2）	既往研究動向の分析を振り返り、研究論文の仮章立てを構成しながら本研究における独自の視点や方法を創出し発表する。 【事前学習】2 時間

		発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに，その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 8 回	研究の視点や方法に関する検討（3）	既往研究動向の分析を振り返り，研究論文の仮章立てを構成しながら本研究における独自の視点や方法を創出し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに，その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 9 回	研究対象の地域統計分析（1）	研究対象に関する国や地方自治体による公的統計データを入手・整理・分析し，事象の経年的推移や地域的特色を考察し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに，その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 10 回	研究対象の地域統計分析（2）	研究対象に関する国や地方自治体による公的統計データを入手・整理・分析し，事象の経年的推移や地域的特色を考察し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに，その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 11 回	研究対象の地域統計分析（3）	研究対象に関する国や地方自治体による公的統計データを入手・整理・分析し，事象の経年的推移や地域的特色を考察し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに，その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 12 回	研究対象地域の事前調査（1）	研究対象地域において市町村や関係機関が公表する諸資料を入手・分析し，当該地理的事象の概況について発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに，その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 13 回	研究対象地域の事前調査（2）	研究対象地域において市町村や関係機関が公表する諸資料を入手・分析し，当該地理的事象の概況について発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに，その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。

		に復習しておくこと。
第 14 回	研究対象地域の事前調査 (3)	研究対象地域において市町村や関係機関が公表する諸資料を入手・分析し、当該地理的事象の概況について発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習するとともに、その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 15 回	研究対象地域の現地フィールドワークにむけて	研究対象地域の現地フィールドワークでの本調査事項について検討し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習するとともに、その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 16 回	現地フィールドワーク調査結果の分析・考察（1）	研究対象地域の現地フィールドワークによる各調査結果について分析・考察し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習するとともに必要に応じて補足調査もおこなうこと。また、その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 17 回	現地フィールドワーク調査結果の分析・考察（2）	研究対象地域の現地フィールドワークによる各調査結果について分析・考察し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習するとともに必要に応じて補足調査もおこなうこと。また、その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 18 回	現地フィールドワーク調査結果の分析・考察（3）	研究対象地域の現地フィールドワークによる各調査結果について分析・考察し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習するとともに必要に応じて補足調査もおこなうこと。また、その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 19 回	研究課題の究明事項の整理（1）	これまでの調査結果や補足調査結果から、現時点で究明している事項を整理し報告する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべきに箇所については速やかに対応し復習するとともに必要に応じて補足調査もおこなうこと。また、その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 20 回	研究課題の究明事項の整理（2）	これまでの調査結果や補足調査結果から、現時点で究明している事項を整理し報告する。 【事前学習】2 時間

		発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに必要に応じて補足調査もおこなうこと。また，その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 21 回	研究課題の究明事項の整理（3）	これまでの調査結果や補足調査結果から，現時点で究明している事項を整理し報告する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに必要に応じて補足調査もおこなうこと。また，その他受講生は発表者の内容についても個々に復習しておくこと。
第 22 回	研究論文の章立て構成（1）	研究論文執筆に向けて論文の章立てを構成し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに必要に応じて補足調査もおこなうこと。また，その他受講生は討議内容をもとに個々にフィードバックしておくこと。
第 23 回	研究論文の章立て構成（2）	研究論文執筆に向けて論文の章立てを構成し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに必要に応じて補足調査もおこなうこと。また，その他受講生は討議内容をもとに個々にフィードバックしておくこと。
第 24 回	研究論文の章立て構成（3）	研究論文執筆に向けて論文の章立てを構成し発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し復習するとともに必要に応じて補足調査もおこなうこと。また，その他受講生は討議内容をもとに個々にフィードバックしておくこと。
第 25 回	研究論文の作成（1）	研究論文において序章や研究対象地域の概要部分を執筆し，その進捗状況などを報告する。 【事前学習】2 時間 研究論文の当該部分を執筆し，報告に備えておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し論文に反映させること。また，その他受講生は討議内容をもとに個々にフィードバックしておくこと。
第 26 回	研究論文の作成（2）	研究論文において研究対象地域の概要や調査結果にもとづく本論部分を執筆し，その進捗状況などを報告する。 【事前学習】2 時間 研究論文の当該部分を執筆し，報告に備えておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し論文に反映させること。また，その他受講生は討議内容をもとに個々にフィードバックしておくこと。
第 27 回	研究論文の作成（3）	研究論文において調査結果にもとづく本論や考察結果の部分を執筆し，その進捗状況などを報告する。

		【事前学習】2 時間 研究論文の当該部分を執筆し，報告に備えておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し論文に反映させること。また，その他受講生は討議内容をもとに個々にフィードバックしておくこと。
第 28 回	研究論文の作成（4）	研究論文における考察結果や結論の部分を執筆し，その進捗状況などを報告する。 【事前学習】2 時間 研究論文の当該部分を執筆し，報告に備えておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し論文に反映させること。また，その他受講生は討議内容をもとに個々にフィードバックしておくこと。
第 29 回	研究論文の作成（5）	研究論文における結論部分を執筆し，その進捗状況などを報告する。 【事前学習】2 時間 研究論文の当該部分を執筆し，報告に備えておくこと。 【事後学習】2 時間 発表者は質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべき箇所については速やかに対応し論文に反映させること。また，その他受講生は討議内容をもとに個々にフィードバックしておくこと。
第 30 回	3 年間のゼミナール研究活動の総括	完成した研究論文をもとに，3 年間のゼミナール研究活動を振り返り総括する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 3 年間のゼミナール研究活動全体を振り返り，この経験を卒業後の進路において活用できるよう考えてみること。

授業形式
授業形態は部分対面型でのグループワーク主体のゼミナール形式による。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	30%	70%	100%
評価の特記事項					
その他は，提出された「研究論文」の審査とする。					

テキスト
参考文献
必読文献等は授業中に指示する
オフィスアワー
火曜日 4 限時（14:40～16:10）。事前にメールでアポイントを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
納得のいく研究論文が作成できるよう、頑張りましょう！
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	05
担当教員	大澤 秀雄	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	7074	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
社会における様々な問題に目を向け、各自が興味を抱いたテーマを設定できるようになる。さらに、それに関連する様々なデータを収集して統計処理を行い、統計分析を通して研究論文をまとめ上げることができる。分析においては、「教養研究 I」、「教養研究 II」およびこれらの科目に関連する「統計学 I」、「統計学 II」で学び、培ってきた多変量統計分析法の中から自らが収集したデータに対して適切な分析を選択して研究論文を仕上げるができる。 対応 D P 及び C P: 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
これまで学んできた統計分析の集大成である。一つの問題テーマに対して、自らが定めた「仮説」に対して、様々な立場・角度から統計的分析を検討するために、次のようなことを目的とする。 (1) テーマに対して適切なデータを収集できるようにすること。 (2) 収集データに対する適切な統計分析手法を選択できる力をつけること。 (3) 研究段階で派生する新たな問題に対峙して、適切に対処する値か r をつけること。 (4) 以上を通して、他者に対して説得力ある論文としてまとめあげること。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	研究論文の完成までの日程を確認する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 自らの研究課題を決めるための資料を収集すること。
第 2 回	研究論文の精読及び検討 (1)	卒ゼミ生の研究論文を精読し分析法、その結果について考察する 【事前学習】2 時間 EcoLink から配布資料(1:卒ゼミ生の論文)をダウンロードしよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料について分析法およびその結果に対する見解をまとめておくこと。
第 3 回	研究論文の精読及び検討 (2)	卒ゼミ生の研究論文を精読し分析法、その結果について考察する 【事前学習】2 時間 EcoLink から配布資料(2:卒ゼミ生の論文)をダウンロードしよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料について分析法およびその結果に対する見解をまとめておくこと。
第 4 回	研究論文の精読及び検討 (3)	卒ゼミ生の研究論文を精読し分析法、その結果について考察する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から配布資料(3:卒ゼミ生の論文)をダウンロードしよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料について分析法およびその結果に対する見解をまとめておくこと。
第 5 回	研究論文の精読及び検討 (4)	卒ゼミ生の研究論文を精読し分析法、その結果について考察する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から配布資料(4:卒ゼミ生の論文)をダウンロードしよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料について分析法およびその結果に対する見解をまとめておくこと。
第 6 回	研究論文の分析法の精査 と実践(1)	2 回目から 5 回目までの検討内容を議論しまとめる。 【事前学習】2 時間 各自で 2 回目から 5 回目までの検討内容をチェックし、まとめておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、各自の検討内容を修正後レポートとしてまとめること。
第 7 回	研究論文の精読及び検討 (5)	卒ゼミ生の研究論文を精読し分析法、その結果について考察する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から配布資料(5:卒ゼミ生の論文)をダウンロードしよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料について分析法およびその結果に対する見解をまとめておくこと。
第 8 回	研究論文の精読及び検討 (6)	卒ゼミ生の研究論文を精読し分析法、その結果について考察する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から配布資料(6:卒ゼミ生の論文)をダウンロードしよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料について分析法およびその結果に対する見解をまとめておくこと。
第 9 回	研究論文の精読及び検討 (7)	卒ゼミ生の研究論文を精読し分析法、その結果について考察する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から配布資料(7:卒ゼミ生の論文)をダウンロードしよく読んでおくこと。

		と。 【事後学習】2 時間 配布資料について分析法およびその結果に対する見解をまとめておくこと。
第 10 回	研究論文の精読及び検討 (8)	卒ゼミ生の研究論文を精読し分析法、その結果について考察する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から配布資料(8:卒ゼミ生の論文)をダウンロードしよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料について分析法およびその結果に対する見解をまとめておくこと。
第 11 回	研究論文の分析法の精査 と実践(1)	7 回目から 10 回目までの検討内容を議論しまとめる 【事前学習】2 時間 各自で 7 回目から 10 回目までの検討内容をチェックし、まとめておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、各自の検討内容を修正後レポートとしてまとめること。
第 12 回	多変量分析の検討(1)	11 回までの分析法および結果のまとめ方の問題点を考察する。 【事前学習】2 時間 各自で 7 回目から 10 回目までの検討内容をチェックし、まとめておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、各自の検討内容を修正後レポートとしてまとめること。
第 13 回	多変量分析の検討(2)	11 回までの分析法および結果のまとめ方の問題点を考察する。 【事前学習】2 時間 前回の検討内容から分析法の問題点および新たな分析手法をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、新たな分析手法の内容をしっかりと理解しておくこと。
第 14 回	研究課題の確認(1)	これまでの検討を踏まえて、自らの課題を決定すること。 【事前学習】2 時間 前回までの検討内容を踏まえて、自らの課題についての計画を立てておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、課題に対するデータ収集をしっかりとしておくこと。
第 15 回	研究課題の確認(2)	前回に引き続き、自らの課題を決定し研究計画を明らかにすること。 【事前学習】2 時間 自らの課題についての計画を立てておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、課題に対するデータ収集および分析法を決めておくこと。
第 16 回	研究論文進捗状況の確認 (1)	研究課題を決定し、データの収集についての報告を行う。 【事前学習】2 時間 自らの課題に対して予測される結果について考察しておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、さらなるデータ収集および分析法を進めておくこと。
第 17 回	研究論文進捗状況の確認 (2)	各自の研究課題に基づいたデータを収集し、分析法を探る。 【事前学習】2 時間 自らの課題に対して予測される結果を導く分析法を考察しておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、さらなるデータ収集および分析法を進めておくこと。
第 18 回	研究論文進捗状況の確認 (3)	各自の研究課題に基づいたデータを収集し、分析法を探る。 【事前学習】2 時間 自らの課題に対して予測される結果を導く分析法を考察しておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、さらなるデータ収集および分析法を進めておくこと。

第 19 回	研究論文進捗状況の確認 (4)	各自の研究課題に基づいたデータを収集し、分析法を探る。 【事前学習】2 時間 自らの課題に対して予測される結果を導く分析法を考察しておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、さらなるデータ収集および分析法を進めておくこと。
第 20 回	研究論文進捗状況の確認 (5)	各自の研究課題に基づいたデータを収集し、分析法を探る。 【事前学習】2 時間 自らの課題に対して予測される結果を導く分析法を考察しておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、さらなるデータ収集および分析法を進めておくこと。
第 21 回	研究論文進捗状況の確認 (6)	各自の研究課題に基づいたデータを収集し、分析法を探る。 【事前学習】2 時間 自らの課題に対して予測される結果を導く分析法を考察しておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の議論に基づき、さらなるデータ収集および分析法を進めておくこと。
第 22 回	研究論文進捗状況の確認 (7)	各自の研究課題に基づいたデータを収集し、分析法を探る。 【事前学習】2 時間 各自において、これまでの考察に基づき論文の構成を練っておくこと。 【事後学習】2 時間 考察した論文構成に従い、書き進めておくこと。
第 23 回	研究論文進捗状況の確認 (8)	個々に書き進めた論文内容を報告し、分析法の精度などの確認を行う。 【事前学習】2 時間 書き進めた論文内容を報告できるよう整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 論文内容のさらなる進展を図り、分析を進めておくこと。
第 24 回	研究論文進捗状況の確認 (9)	個々に書き進めた論文内容を報告し、分析法の精度などの確認を行う。 【事前学習】2 時間 書き進めた論文内容を報告できるよう整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 論文内容のさらなる進展を図り、分析を進めておくこと。
第 25 回	研究論文、荒原稿の仕上げ	個々に論文全体の内容を報告し、論文の荒原稿を仕上げる。 【事前学習】2 時間 これまでの考察に基づき論文をまとめ上げられるように整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 研究論文としての形を整えて、提出できるようにしておくこと。
第 26 回	研究論文の修正(1)	書き進めた論文内容を精査する。 【事前学習】2 時間 まとめ上げた論文を読み返し、修正箇所などのチェックをしておくこと。 【事後学習】2 時間 研究論文としての形を整えて、提出できるようにしておくこと。
第 27 回	研究論文の修正(2)	論文内容を精査する。 【事前学習】2 時間 まとめ上げた論文を読み返し、修正箇所などのチェックをしておくこと。 【事後学習】2 時間 研究論文としての形を整えて、さらに発展させることを考察しておくこと。
第 28 回	研究論文の修正(3)	論文内容を精査する。 【事前学習】2 時間 発展させられる内容についてチェックをしておくこと。 【事後学習】2 時間 さらに発展させることを考察し、まとめ上げておくこと。
第 29 回	研究論文の完成	論文内容を精査し、完成させる。 【事前学習】2 時間

		完成した論文内容についてチェックしておくこと。 【事後学習】2 時間 研究論文としての提出版をまとめておくこと。
第 30 回	研究論文に関する意見交換	完成した論文内容をまとめ報告を行う。 【事前学習】2 時間 完成した論文内容を説明できるようしておくこと。 【事後学習】2 時間 研究論文としての最終提出版をまとめること。

授業形式
前期は全体として、Zoom を利用して卒ゼミ生の研究論文を精読し、分析内容の精度やさらなる発展について考察する。後期は主として、個々に Zoom または Meet を行い各自の論文に対する進捗を図っていくことを予定する。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
各自の研究課題に対して、適切な分析法が行われ結果が導かれているかを重視して評価する。					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
随時、相談による。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
① これまで学んだ分析法を最大限に利用することを考えよう。
② 研究論文は学生時代における最初にして最後の自らの作品である。必ず、仕上げて卒業してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	06
担当教員	小笠原 祐子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	A12	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の 1) ～5) ができることを目標とする。 1) 問題関心のみならず、フィージビリティを考慮にいたった研究課題の設定ができる。 2) 先行研究の収集方法について学ぶ。 3) 適切な仮説を提示する。 4) さまざまなデータの持つ長所と短所を理解する。 5) 研究論文を作成する。 対応 DP および CP : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
教養研究（一）および教養研究（二）においてグループで行ったリサーチ・プロジェクトの反省点をふまえて、個人でリサーチ・プロポーザルを作成し、調査研究を完遂する力を養う。その際、小さくともオリジナルな発想を重視する。さらに、調査結果を研究論文にまとめる作業を通して、論理的な論旨展開、説得的な文章表現、効果的な図表の表示方法を習得する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意について再確認する。新しいメンバーがいる場合は，自己紹介をする。 【事前学習】2 時間 自己紹介で述べたいことを考えてくる。 【事後学習】2 時間 ゼミ運営の方針についてよく復習し，疑問点を書き出して，次回授業で質問をする。
第 2 回	教養研究（二）の反省	教養研究（二）を反省し今年度への改善点や抱負について討論する。 【事前学習】2 時間 昨年 1 年間の反省点や改善点について考えてくる。 【事後学習】2 時間 今期に向けて自分なりの目標を立てる。
第 3 回	リサーチ・プロポーザルの作成	リサーチ・プロポーザルの作成方法について学ぶ。 【事前学習】2 時間 リサーチ・プロポーザルに関して下調べをしてくる。 【事後学習】2 時間 リサーチ・プロポーザルについて復習し，疑問点を書き出して，次回授業で質問をする。
第 4 回	研究課題の設定	記述的研究と謎解きの研究の相違を理解し，研究課題の設定ができるようになる。 【事前学習】2 時間 どのような社会現象を説明したいのか考えてくる。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことを通して，研究課題を再設定する。
第 5 回	先行研究の収集	図書館の文献検索ツールを使用して，先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 図書館の文献検索ツールを復習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 6 回	既存の研究文献の検討	収集した先行研究を検討し，何が未解明であるか明らかにする。 【事前学習】2 時間 先行研究をレビューする。 【事後学習】2 時間 先行研究のレビューを通して，各自の研究で焦点を当てたい点を明らかにする。
第 7 回	仮説の設定	調査課題を明確な仮説の形で提示する。 【事前学習】2 時間 仮説とは何か調べてくる。 【事後学習】2 時間 説明したい社会現象をデータによって検証できる形に明示できているか再確認する。
第 8 回	データの種類の検討	データの種類について学ぶ。 【事前学習】2 時間 どのようなデータの収集方法があるか下調べをする。 【事後学習】2 時間 それぞれのデータの長所と短所についてまとめる。
第 9 回	データ収集方法の選定	さまざまなデータの長所と短所を理解した上で，各自の研究に適したデータ収集方法を選定する。 【事前学習】2 時間

		データ収集方法について検討してくる。 【事後学習】2 時間 授業内容を基にデータ収集方法を決定する。
第 10 回	サンプルの収集と主な分析項目	サンプルの収集方法と主要な分析項目について検討する。 【事前学習】2 時間 サンプル収集の対象や数量について考えてくる。 【事後学習】2 時間 各自の研究に適した分析項目をリストアップする。
第 11 回	質問票等の作成	質問票の作成方法について学ぶ。 【事前学習】2 時間 質問票を作成してみる。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に質問票を修正する。
第 12 回	参考文献のリストアップ	参考文献のリストアップを行う。 【事前学習】2 時間 研究課題に関連する参考文献をリストアップする。 【事後学習】2 時間 授業を基に参考文献リストを修正する。
第 13 回	リサーチ・プロポーザルの完成	前期の授業を通して学んだことをリサーチ・プロポーザルの形にまとめる。 【事前学習】2 時間 リサーチ・プロポーザルの下書きをする。 【事後学習】2 時間 授業内容を基にリサーチ・プロポーザルを完成する。
第 14 回	リサーチ・プロポーザルの報告	リサーチ・プロポーザルの報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容を準備する。 【事後学習】2 時間 報告会のフィードバックを基に、リサーチ・プロポーザルを修正する。
第 15 回	前期の反省	前期の反省と後期への改善点や抱負について討論する。 【事前学習】2 時間 前期の反省点や改善点について考えてくる。 【事後学習】2 時間 後期に向けて自分なりの目標を立てる。
第 16 回	後期のゼミ運営について	前期の反省をふまえて、後期のゼミ運営について話し合う。 【事前学習】2 時間 前期の反省をふまえて、後期のゼミ運営について考えてくる。 【事後学習】2 時間 話し合いの内容をふまえて、後期の自分なりのゼミの目標を立てる。
第 17 回	夏休み中の研究進捗状況の報告	研究の進捗状況の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容について準備をする。 【事後学習】2 時間 報告で得たフィードバックを基に調査研究を進める。
第 18 回	調査研究の問題点の吟味	各自の調査において問題となっている点を吟味する。 【事前学習】2 時間 各自の調査の問題点を洗い出しておく。 【事後学習】2 時間 授業で得たフィードバックを基に調査を修正する。
第 19 回	調査研究の問題点の吟味	各自の調査において問題となっている点を吟味する。 【事前学習】2 時間 各自の調査の問題点を洗い出しておく。 【事後学習】2 時間

		授業で得たフィードバックを基に調査を修正する。
第 20 回	調査研究の問題点の吟味	各自の調査において問題となっている点を吟味する。 【事前学習】2 時間 各自の調査の問題点を洗い出しておく。 【事後学習】2 時間 授業で得たフィードバックを基に調査を修正する。
第 21 回	論文作成に着手	論文作成方法について学ぶ。 【事前学習】2 時間 論文の構成要素について下調べをする。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことを基に論文作成に着手する。
第 22 回	研究論文作成の進捗状況の報告	各自の論文作成において問題となっている点を吟味する。 【事前学習】2 時間 各自の論文作成上の問題点を洗い出しておく。 【事後学習】2 時間 授業で得たフィードバックを基に論文を修正する。
第 23 回	研究論文作成の進捗状況の報告	各自の論文作成において問題となっている点を吟味する。 【事前学習】2 時間 各自の論文作成上の問題点を洗い出しておく。 【事後学習】2 時間 授業で得たフィードバックを基に論文を修正する。
第 24 回	研究論文作成の進捗状況の報告	各自の論文作成において問題となっている点を吟味する。 【事前学習】2 時間 各自の論文作成上の問題点を洗い出しておく。 【事後学習】2 時間 授業で得たフィードバックを基に論文を修正する。
第 25 回	研究論文の完成	研究論文を完成する。 【事前学習】2 時間 研究論文完成に向けて問題点を洗い出す。 【事後学習】2 時間 授業で得たフィードバックを基に論文を完成する。
第 26 回	研究成果の最終報告	研究成果の最終報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 報告会でのフィードバックを基に論文を最終修正する。
第 27 回	3 年生のグループワーク報告会（その 1）	グループワークの報告会に参加する。 【事前学習】2 時間 質問を準備をする。 【事後学習】2 時間 グループワークを通して学んだことを整理しておく。
第 28 回	3 年生のグループワーク報告会（その 2）	グループワークの報告会に参加する。 【事前学習】2 時間 質問を準備をする。 【事後学習】2 時間 グループワークを通して学んだことを整理しておく。
第 29 回	4 年生の就職活動報告会	4 年生による就職活動報告会を実施する。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションに使用するスライドを準備する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの反省点を整理する。
第 30 回	1 年間を振り返る	1 年間の反省と卒業後の抱負について討論する。

		【事前学習】2 時間 1 年間の反省点や今後の抱負について考えてくる。 【事後学習】2 時間 3 年間を通してゼミで学んだことを振り返る。
--	--	--

授業形式
授業形態は①「同時双方向型」とする。 質問等のフィードバックは、講義内で行う。 質問等は Ecolink または Gmail でも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
使用しない。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミ内での討論参加が重要なので、欠席する場合は事前に必ず連絡をすること。 積極的に議論に参加することを心がけ、発言が苦手な人も 1 日 1 回は発言するなど自分なりの目標を立てて、コミュニケーション力の向上に努めること。 文章を書くのが苦手な人もコツコツ努力して少しずつ研究論文作成を進めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	07
担当教員	岡本 奈穂子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	3134	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 特定のテーマについて日独比較研究を行い，研究成果を説明することができる。 2. 論文を執筆するために必要な文献・情報収集や研究考察の手法を体得することができる。 3. 理論的・批判的思考力を養うとともに，読解力，説明力，文章力を向上することができる。 対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
文献・情報収集，研究成果の報告，論文指導を繰り返し行い，研究論文の完成を目指す。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業計画，成績評価，授業に関する諸注意等について説明する。
第 2 回	文献・情報収集の方法	文献・情報収集に役立つサイトや図書館の活用方法について説明する。 【事前学習】2 時間 資料を熟読し，内容を理解する。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に文献・情報収集を行う。
第 3 回	レポート添削指導 1	各自のレポートについて添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出したレポートを見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 4 回	レポート添削指導 2	各自のレポートについて添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出したレポートを見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 5 回	レポート添削指導 3	各自のレポートについて添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出したレポートを見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 6 回	研究成果の報告 1	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 7 回	論文指導 1－1（ドイツ編前半）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 8 回	論文指導 2－1（ドイツ編前半）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 9 回	論文指導 3－1（ドイツ編前半）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。する。
第 10 回	研究成果の報告 2	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 11 回	論文指導 1－2（ドイツ編後半）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。

		【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 12 回	論文指導 2－2（ドイツ編後半）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 13 回	論文指導 3－2（ドイツ編後半）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 14 回	研究成果の報告 3	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 15 回	前期のまとめ	前期の進捗状況を踏まえ、今後の進行について説明・確認する。 【事前学習】2 時間 論文を見直しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に今後の論文作成計画を立てる。
第 16 回	後期授業ガイダンス	後期授業の内容について説明する。 各自で論文の進捗状況の報告を行う。 【事前学習】2 時間 これまでに作成した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 17 回	論文指導 1－3（日本編）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 18 回	論文指導 2－3（日本編）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 19 回	論文指導 3－3（日本編）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 20 回	研究成果の報告 4	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 21 回	論文指導 1－4（日独比較編）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間

		授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。 授業の内容を復習しておくこと。
第 22 回	論文指導 2－4（日独比較編）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 23 回	論文指導 3－4（日独比較編）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 24 回	研究成果の報告 5	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 25 回	論文指導 1－5（まとめ）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 26 回	論文指導 2－5（まとめ）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 27 回	論文指導 3－5（まとめ）	各自の論文について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した論文を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 28 回	研究成果の報告 6	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 29 回	研究論文（案）	各自の研究論文（案）について添削事項や改善案などを説明する。 【事前学習】2 時間 提出した研究論文（案）を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。
第 30 回	研究論文の完成	各自で研究論文の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を加筆・修正する。

授業形式

授業は、①同時双方向型授業を中心に行います（一部、対面授業を行う可能性があります）。
質問等のフィードバックは原則として授業中に行います。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	90%	0%	10%	0%	100%
評価の特記事項					
研究論文の完成度（文章，論理性，説得力など）を評価します。					

テキスト
各自収集
参考文献
特になし
オフィスアワー
月曜日 18:00- （要事前連絡）
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・研究論文は4年間の大学生活の集大成となるものです。 ・論文執筆は自分との闘いになりますが，しっかりサポートするので，わからないことや困ったことは随時相談してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	08
担当教員	笠貫 葉子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限		単位区分	選
講義室		単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
これまでに学んだ内容を踏まえ、自分の興味ある認知言語学的テーマを見つけ、研究論文を完成させる。 D P 及び C P : 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
各自が興味あるテーマに基づいて執筆する研究論文について、個別に指導を行う。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方や論文の書き方についての概説。 【事前学習】2 時間 これまでに書いたレポートについて、どういった「書き方」をしていたか振り返っておく。 【事後学習】2 時間 授業での説明を踏まえ、「書き方」について自分が改善すべき点を考察する。
第 2 回	研究課題の考察	各自の興味・関心にもとづき、研究課題を検討する。 【事前学習】2 時間 これまでの学習を振り返り、研究課題の候補を挙げておく。 【事後学習】2 時間 授業内容を踏まえ、研究課題を検討する。
第 3 回	研究課題の決定	前回までの考察を踏まえ、研究課題を決定する。 【事前学習】2 時間 研究課題候補を説明できるよう、紙面にまとめておく。 【事後学習】2 時間 教員からの助言を踏まえ、研究課題について自分なりに論文の方向性を考える。
第 4 回	アウトラインの考察（1）	選んだ研究課題について、教員の助言を受けながら論文全体のアウトラインを考察する。 【事前学習】2 時間 自分なりにアウトライン案を考えて、紙面にまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容を踏まえ、アウトライン案を再考する。
第 5 回	アウトラインの考察（2）	選んだ研究課題について、教員の助言を受けながら論文全体のアウトラインを考察する。 【事前学習】2 時間 自分なりにアウトライン案を考えて、紙面にまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容を踏まえ、アウトライン案を再考する。
第 6 回	アウトラインの決定と先行研究の確認	アウトラインを最終決定し、必要な先行研究にあたっていく。 【事前学習】2 時間 アウトラインの最終案を紙面にまとめておく。主だった先行研究を確認しておく。 【事後学習】2 時間 授業内容を踏まえ、先行研究にあたっていく。
第 7 回	言語データの提示（1）	扱う言語データの検討。 【事前学習】2 時間 自分が扱いたい言語データを収集し、紙面にまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容を踏まえ、必要に応じて言語データを更に収集する。
第 8 回	言語データの提示（2）	扱う言語データの検討。 【事前学習】2 時間自分が扱いたい言語データを収集し、紙面にまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容を踏まえ、必要に応じて言語データを更に収集する。
第 9 回	先行研究の主な引用について（1）	主な引用箇所の検討。 【事前学習】2 時間 先行研究において引用すべき箇所を検討し、紙面にまとめておく。

		【事後学習】2 時間 授業内容を踏まえ、引用すべき箇所を紙面にまとめ直す。
第 10 回	先行研究の主な引用について（2）	主な引用箇所の検討。 【事前学習】2 時間 先行研究において引用すべき箇所を検討し、紙面にまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容を踏まえ、引用すべき箇所を紙面にまとめ直す。
第 11 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 12 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 13 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 14 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 15 回	中間発表	他のゼミ生に向けて論文の中間発表を行う。 【事前学習】2 時間 論文の概要をわかりやすく発表できるよう、紙面にまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けたコメントを踏まえ、今後の方向性を再考する。
第 16 回	後期オリエンテーション	論文締め切りまでの執筆予定を再確認し、必要に応じて修正する。 【事前学習】2 時間 夏季休暇までに執筆した草稿を見直し、今後の見通しを説明できるようにしておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた助言を踏まえ、今後の予定を調整する。
第 17 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 18 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 19 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間

		授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 20 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 21 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 22 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 23 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 24 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 25 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 26 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 27 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 28 回	論文指導	執筆内容について、教員からの指導を受ける。 【事前学習】2 時間 自分なりに論文執筆を進め、執筆した分を教員にメールで送っておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けた指導を踏まえ、必要な修正・加筆を行う。
第 29 回	最終発表	他のゼミ生に向けて論文の最終発表を行う。 【事前学習】2 時間 論文の概要をわかりやすく発表できるよう、紙面にまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業で受けたコメントを踏まえ、必要な修正を行う。
第 30 回	論文の最終確認	完成した草稿の確認。

		【事前学習】2 時間 自分なりに草稿に目を通し，修正が必要な箇所がないか確認しておく。 【事後学習】2 時間 授業内容を踏まえ，必要な修正を行う。
--	--	---

授業形式
授業形態は「①同時双方向型」とする。 教員の助言を踏まえながら，各自の研究テーマに沿った論文執筆を進めてもらう。 適宜，下級生や同級生に向けて発表の場を設け，意見交換を行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	100%
評価の特記事項					
締め切りは必ず守ること。					

テキスト
特に指定しない。
参考文献
各自の研究課題に沿った先行研究などを随時教示する。
オフィスアワー
基本的に授業時間前後の時間帯とする。必ず事前にアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
やむを得ず遅刻・欠席をする場合には、必ず教員に連絡すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	09
担当教員	加藤 嘉津枝	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限		単位区分	選
講義室		単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 第二言語習得について基礎的なことを理解し、研究論文の作成につなげることができる。 2. 効果的な英語学習法を理解し、研究論文の作成につなげることができる。 3. 受講生が取り組む英語学習法に関するテーマについて活発に議論し意見交換することができる。 4. 英語学習法に関する研究論文を作成することができる。 対応 DP 及び CP:1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では、教養研究 I, 教養研究 II で学習したことを基に、自身の興味、関心に合わせた英語学習法に関する論文を作成してもらいます。英語学習法に関連する資料を読み、発表、討論、論文執筆をしてもらいます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 研究課題について, 資料に目を通して考える。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 2 回	研究課題設定	研究課題設定のため, 資料を読む。 これまでの受講生が作成した論文を紹介する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 3 回	先行研究の収集方法について	大学図書館の検索ツールの使い方を確認する。それを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 先行研究を収集し, 資料を読む。
第 4 回	論文執筆について 論文の要約, 討論	論文の執筆方法, 論文の構成について解説する。 英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し, 討論する。 【事前学習】2 時間 授業で扱う資料を読み, 要約する。論文の先行研究を読む。論文の構成を考える。 【事後学習】2 時間 論文の先行研究を読む。
第 5 回	論文の要約, 討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し, 討論する。 【事前学習】2 時間 授業で扱う資料を読み, 要約する。論文の先行研究を読む。 【事後学習】2 時間 論文の先行研究を読む。
第 6 回	論文の要約, 討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し, 討論する。 【事前学習】2 時間 授業で扱う資料を読み, 要約する。論文の先行研究を読む。 【事後学習】2 時間 論文の先行研究を読む。
第 7 回	論文の要約, 討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し, 討論する。 【事前学習】2 時間 授業で扱う資料を読み, 要約する。論文の先行研究を読む。 【事後学習】2 時間 論文の先行研究を読む。
第 8 回	論文の要約, 討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し, 討論する。 【事前学習】2 時間 授業で扱う資料を読み, 要約する。論文の先行研究を読む。 【事後学習】2 時間 論文の先行研究を読む。論文の序論を書き始める。
第 9 回	論文序論についての意見交換	序論の草稿を発表し, 意見交換する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。論文の序論の草稿を書く。 【事後学習】2 時間

		序論を推敲する。資料を読む。
第 10 回	論文の要約, 討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し, 討論する。 【事前学習】2 時間 資料を読み, 要約する。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文の第 1 章を書き始める。
第 11 回	第 1 章についての意見交換	第 1 章の草稿を発表し, 意見交換する。 【事前学習】2 時間 論文の第 1 章の草稿を書く。資料を読む。 【事後学習】2 時間 資料を読む。第 1 章の草稿を推敲する。
第 12 回	論文の要約, 討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し, 討論する。 【事前学習】2 時間 資料を読み, 要約する。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文の第 2 章を書き始める。
第 13 回	第 2 章についての意見交換	第 2 章の草稿を発表し, 意見交換する。 【事前学習】2 時間 論文の第 2 章の草稿を書く。資料を読む。 【事後学習】2 時間 資料を読む。第 2 章の草稿を推敲する。
第 14 回	論文の要約, 討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し, 討論する。 【事前学習】2 時間 資料を読み, 要約する。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文の第 3 章以降を書き進める。
第 15 回	前期まとめ	前期に書いた部分について, それぞれが要約・発表し, 意見交換する。 【事前学習】2 時間 前期に書いた草稿を要約する。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 16 回	後期ガイダンス 第 3 章についての意見交換	講義の内容, 講義の形式について説明します。 第 3 章の草稿を発表し, 意見交換する。 【事前学習】2 時間 論文の第 3 章の草稿を書く。資料を読む。 【事後学習】2 時間 資料を読む。第 3 章の草稿を推敲する。
第 17 回	論文の要約, 討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し, 討論する。 【事前学習】2 時間 資料を読み, 要約する。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文の第 3 章以降を書き進める。
第 18 回	第 4 章についての意見交換	第 4 章の草稿を発表し, 意見交換する。 【事前学習】2 時間 論文の第 4 章の草稿を書く。資料を読む。 【事後学習】2 時間 資料を読む。第 4 章の草稿を推敲する。
第 19 回	論文の要約, 討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し, 討論する。 【事前学習】2 時間 資料を読み, 要約する。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文の第 4 章以降を書き進める。

第 20 回	論文発表	論文全体をまとめたものを発表，討論する。 【事前学習】2 時間 論文をまとめて，発表の準備をする。論文を推敲し，書き進める。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 21 回	論文発表	論文全体をまとめたものを発表，討論する。 【事前学習】2 時間 論文をまとめて，発表の準備をする。論文を推敲し，書き進める。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 22 回	論文発表	論文全体をまとめたものを発表，討論する。 【事前学習】2 時間 論文をまとめて，発表の準備をする。論文を推敲し，書き進める。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 23 回	論文発表	論文全体をまとめたものを発表，討論する。 【事前学習】2 時間 論文をまとめて，発表の準備をする。論文を推敲し，書き進める。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 24 回	論文の要約，討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し，討論する。 【事前学習】2 時間 資料を読み，要約する。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 25 回	論文の要約，討論	英語学習法に関する論文を受講生が要約・発表し，討論する。 【事前学習】2 時間 資料を読み，要約する。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 26 回	論文発表	論文全体をまとめたものを発表，討論する。 【事前学習】2 時間 論文をまとめて，発表の準備をする。論文を推敲，書き進める。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 27 回	論文発表	論文全体をまとめたものを発表，討論する。 【事前学習】2 時間 論文をまとめて，発表の準備をする。論文を推敲，書き進める。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 28 回	論文発表	論文全体をまとめたものを発表，討論する。 【事前学習】2 時間 論文をまとめて，発表の準備をする。論文を推敲，書き進める。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 29 回	論文発表	論文全体をまとめたものを発表，討論する。 【事前学習】2 時間 論文をまとめて，発表の準備をする。論文を推敲，書き進める。 【事後学習】2 時間 資料を読む。論文を書き進める。
第 30 回	まとめ	論文のアブストラクトを発表し，意見交換する。 【事前学習】2 時間

		論文の提出準備をする。アブストラクトを作成する。 【事後学習】2 時間 論文を推敲して，提出できるようにする。
--	--	---

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」「③部分対面型」とします。 ・演習形式を中心として授業を進め，ペアワーク，グループワークなども行います。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	30%	70%	100%
評価の特記事項					
授業への参画度では，課題への取り組み（質，量ともに），発表等を評価します。その他では，論文を評価します。					

テキスト
特になし。
参考文献
授業中に随時紹介します。
オフィスアワー
月曜日 11:00～12:00。事前にメールでアポイントをとってください。メールによる相談も受け付けます。初回に授業用メールアドレスをお伝えします。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
全体での演習やグループワーク，ペアワークでは，ゼミ生の意見をよく聴き，自分からも積極的に発言するように心がけてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	10
担当教員	金田 耕一	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限		単位区分	選
講義室		単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
・「教養研究(一)」(2 年)では身近な問題から公共政策について考える糸口となる発表を中心にすすめる。 ・「教養研究(二)」(3 年)では「研究論文」を見据えて、各人が主に取り組むテーマを見出せるような発表をおこなう。 ・「研究論文」(4 年)では、これまでの成果を論文としてまとめるために、資料の収集、論文構想、具体的な執筆、経過報告、最終報告をおこなう。 対応 DP 及び CP：1，2，6，7，8
授業概要（教育目的）
現代社会が直面するさまざまな公共的課題を発見して、読み解き、それが引き起こしている影響、原因、そして解決の見通しなどについて考える力をつける。近年では公共的課題の「効率的」解決として公共システムの民営化や縮小がおこなわれてきた。しかし、その結果として、公的領域が私的領域へと変えられて、ますます公共的課題に取り組む「学知」も痩せ細ってきている。公共政策の課題をつうじて、あらためて「公共性」について考えたい。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	研究論文の進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 教養研究（二）の資料を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 2 回	研究課題の設定①	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 3 回	研究課題の設定②	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 4 回	研究課題の設定③	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 5 回	研究課題の設定④	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 6 回	研究課題の設定⑤	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 7 回	研究課題の設定⑥	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 8 回	資料収集と分析①	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 9 回	資料収集と分析②	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 10 回	資料収集と分析③	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間

		授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 11 回	資料収集と分析④	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 12 回	資料収集と分析⑤	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 13 回	資料収集と分析⑥	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 14 回	資料収集と分析⑦	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 15 回	資料収集と分析⑧	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 16 回	研究論文の途中経過報告 ①	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 17 回	研究論文の途中経過報告 ①	研究論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 18 回	研究論文の途中経過報告 ②	研究論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 19 回	研究論文の途中経過報告 ③	研究論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 20 回	研究論文の途中経過報告 ④	研究論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 21 回	研究論文の途中経過報告	研究論文の途中経過を報告し、検討する。

	⑤	【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 22 回	研究論文の途中経過報告 ⑥	研究論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 23 回	研究論文の途中経過報告 ⑦	研究論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 24 回	研究論文の途中経過報告 ⑧	研究論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 25 回	研究論文の途中経過報告 ⑨	研究論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 26 回	研究論文の最終報告①	研究論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 27 回	研究論文の最終報告②	研究論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 28 回	研究論文の最終報告③	研究論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 29 回	研究論文の最終報告④	研究論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 30 回	まとめ	研究論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行う。 ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	11
担当教員	久井田 直之	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 英語と日本語の違いを理解し、説明できる。 2. 身近にあるさまざまな問題について、グローバルな視点で捉え、自身の考えを平易な英語で発信できる。 3. 問題の背景を調査し、深く考察することで、問題の本質を説明できる。 4. 効果的なプレゼンテーションを行うことができる。 5. 論文のフォーマットを理解し、論理的に自身の考えを表現できる。 対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールでは、問題発見能力や問題解決能力などの社会人として求められるスキルと英語学習や英語の資格試験に必要なとされるスキルの二つの習得を目標とします。 対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	テーマ決め	3 年次ゼミで選んだテーマを膨らませて研究論文のテーマとするか、別のテーマで研究論文に取り組むか、教員と相談しながら、今後の計画を作成する。必要に応じて図書館での調査を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 1 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 2 回	論文概要	研究論文のテーマの問いを立て、論文の構成を考える。どのような方法で問いに答えるかも検討し、論文の全体像を描く。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 2 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 3 回	先行研究の見つけ方	インターネットを用いての論文検索方法を確認し、先行研究を研究論文に記載する参考文献の書き方や先行研究の整理ノートの作成方法などを学ぶ。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 3 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 4 回	先行研究との対比	研究論文のテーマの先行研究を見つけ、自身の問いとの比較をし、参考にできる点や改善すべき点を検証し、先行研究をまとめる。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 4 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 5 回	先行研究の整理	先行研究の整理を続ける。芋づる式に先行研究を検証することで、テーマに関しての本質的な問題点を見つけ、自身の問い立てが正しかったかどうかを考える。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 5 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 6 回	先行研究についての研究論文の執筆	論文の構成の中で、先行研究について整理する章の執筆を行う。前回までの内容に基づき、自身の研究論文と先行研究の関係性や問題提起を行いながら、先行研究をまとめる。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 6 回の準備を行うこと。

		【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 7 回	先行研究についての口頭発表	前回に引き続き，先行研究について整理する章の執筆を行う。学生間で各自のテーマの先行研究にどのような疑問を持ったのかなどを口頭発表する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 7 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 8 回	仮説の検証	自身の研究論文の本論に入れる仮説の検証について考える。検証方法（アンケートや分析）を明確にし，自身の研究論文の一部に含むことができるようにまとめる。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 8 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 9 回	検証方法	前回の検証方法について，教員と共に試験的に検証がうまくいくかどうか確認する。アンケートを作成する場合は，アンケートの効果的な作成方法について確認し，アンケートの作成を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 9 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 10 回	口頭発表	ここまでの研究論文の作成過程と現状について，学生間で口頭発表を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 10 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 11 回	独自性とは	研究論文に含まれる独自性を際立たせるために，どのような作業が必要かを学ぶ。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 11 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 12 回	過去の研究論文	指導教員の提示した過去の研究論文のモデルを輪読し，問題点や改善点などをディスカッションする。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 12 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備し

		ておくこと。
第 13 回	研究論文の対比	前回の過去の研究論文の例と、自身の進めている研究論文を比較し、自身の論文の修正点等を整理する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 13 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 14 回	自身のキャリア	自身のキャリアについての考え方の推移を振り返り、整理して、就職活動について後輩に話すためにまとめる。どのようなきっかけで考え方や行動の変化があったかを中心に振り返る。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 14 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 15 回	動画作成	就職活動の経験をディスカッション形式で共有し、後輩に自身の経験を話す準備を行う。zoom 動画による撮影、3 年ゼミナール内でのプレゼンテーションのどちらかを選択する。どのような情報が有益か、など聞き手を意識して内容を検討する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 15 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 16 回	進捗状況報告	夏季休暇中にも論文についての意見交換を行っているので、夏季休暇中の進捗状況を報告する。夏季休暇中に判明した研究論文の課題について、解決方法を探る。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 16 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 17 回	研究の進め方	論文の構成の中で、研究の進め方について整理する章の執筆を行う。構成を箇条書きにしたものを事前に作成し、その箇条書きの並べ方に注意しながら、論理的な構成になっているかどうかを確認する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 17 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 18 回	本論執筆	論文の構成の中で、本論の部分の執筆を行う。構成を箇条書きにしたものを事前に作成し、その箇条書きの並べ方に注意しながら、論理的な構成になっているかどうかを確認する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 18 回の準備を行うこと。

		【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 19 回	本論執筆 2	前回到引き続き、本論の部分の執筆を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 19 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 20 回	研究論文執筆の過程の説明	ゼミナール後輩やゼミナール入室試験の受験生向けに、卒論の作成の過程やその経験で得たことなどをプレゼンテーションする。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 20 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 21 回	執筆状況の報告	研究論文の執筆状況について、口頭発表を行い、フィードバックから論文の修正を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 21 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 22 回	執筆状況の報告 2	研究論文の執筆状況について、口頭発表を行い、フィードバックから論文の修正を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 22 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 23 回	執筆状況の報告 3	研究論文の執筆状況について、一週間での進捗状況を報告し、指導教員との質疑応答を行いながら、論文の修正を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 23 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 24 回	週ごとの取り組み	研究論文の執筆状況について、一週間での進捗状況を報告し、指導教員との質疑応答を行いながら、論文の修正を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 24 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 25 回	週ごとの取り組み	研究論文の執筆状況について、一週間での進捗状況を報告し、指導教員との質疑応答を行いながら、論文の修正を行う。

		【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 25 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 26 回	ピアリーディング	他のゼミ生の研究論文をピアリーディングし、改善のためのコメントなどを討議する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 26 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 27 回	ピアリーディング 2	他のゼミ生の研究論文をピアリーディングし、改善のためのコメントなどを討議する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 27 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 28 回	ピアリーディング 3	他のゼミ生の研究論文をピアリーディングし、改善のためのコメントなどを討議する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 28 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 29 回	提出前フォーマットの確認	参考文献の書き方に従ってかけているかどうか点検する。目次等の本文以外の体裁をフォーマットに従って整える。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 29 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 30 回	提出前最終質疑	提出前の最終確認を行う。質疑応答の形式でのディスカッションも行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 30 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 本日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。

授業形式
授業形態は「①同時双方向型」とする。（コロナウィルス感染状況に応じて対面で実施する） ・アクティブ・ラーニングを実施する。（実施方法の詳細は初回ゼミナールで説明する。）

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	1
評価の特記事項					
研究論文の出来がその他の 80%に該当する。					

テキスト
授業時に指示します。
参考文献
授業時に指示します。
オフィスアワー
月曜日 15:00～17:00。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
調べたり，考えたりすることが継続でき，あきらめずに取り組む姿勢を持ってもらえたらと思います。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	12
担当教員	坂野 徹	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミでは、現代日本社会における様々な文化的事象を、フィールドワーク（現地調査）と書物を通じて考えていく。現在のコロナ渦にあって、どこか遠くに出かけてのフィールドワークは難しくなってしまったが、東京という都市、学生の暮らす家や街、アルバイト先、さらにはネット空間もまたひとつのフィールド（現場）にほかならない。本ゼミでは、こうした 様々なフィールド（現場）で発生する文化的事象を対象に、幅広い読書と自らの観察・聞き書き（目、耳）も駆使しながら考えていく。 対応DP及びCP：1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
ゼミで取り上げる可能性のある問題は、政治やコロナ渦などの社会に関わる問題から、大学生活や恋愛、ファッション、趣味、風俗といった日常的な問題まで、非常に多岐にわたる。学生諸君には、「全てはフィールドである」という精神のもと、自分を取り巻く日常世界を批判的に捉え返す姿勢を養ってもらいたい。ゼミの目的を一言で表すならば、「人生の強化」である。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション（1）	論文とは何か、研究とは何かについて解説する。 【事前学習】2 時間 論文作法の本を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題について考える。
第 2 回	イントロダクション（2）	論文とは何か、研究とは何かについて解説する。 【事前学習】2 時間 論文作法の本を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題について考える。
第 3 回	研究課題の設定（1）	自分の研究テーマを明確化する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題について考える。
第 4 回	研究課題の設定（2）	自分の研究テーマを明確化する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題について考える。
第 5 回	先行研究の吟味（1）	先行研究の収集と吟味。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。
第 6 回	先行研究の吟味（2）	先行研究の収集と吟味。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。
第 7 回	先行研究の吟味（3）	先行研究の収集と吟味。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。
第 8 回	研究成果の報告（1）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 9 回	研究成果の報告（2）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 10 回	研究成果の報告（3）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間

		授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 11 回	研究成果の報告（４）	研究成果の報告。 【事前学習】２時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】２時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 12 回	研究成果の報告（５）	研究成果の報告。 【事前学習】２時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】２時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 13 回	研究成果の報告（６）	研究成果の報告。 【事前学習】２時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】２時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 14 回	研究成果の報告（７）	研究成果の報告。 【事前学習】２時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】２時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 15 回	研究成果の報告（８）	研究成果の報告。 【事前学習】２時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】２時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 16 回	研究成果の報告（９）	研究成果の報告。 【事前学習】２時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】２時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 17 回	研究成果の報告（10）	研究成果の報告。 【事前学習】２時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】２時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 18 回	研究成果の報告（11）	研究成果の報告。 【事前学習】２時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】２時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 19 回	研究成果の報告（12）	研究成果の報告。 【事前学習】２時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】２時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 20 回	研究成果の報告（13）	研究成果の報告。 【事前学習】２時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】２時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 21 回	研究成果の報告（14）	研究成果の報告。

		【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を執筆する。
第 22 回	研究成果の報告（15）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正する。
第 23 回	研究成果の報告（16）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正する。
第 24 回	研究成果の報告（17）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正する。
第 25 回	研究成果の報告（18）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正する。
第 26 回	研究成果の報告（19）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正する。
第 27 回	研究成果の報告（20）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正する。
第 28 回	研究成果の報告（21）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正する。
第 29 回	研究成果の報告（22）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正する。
第 30 回	研究成果の報告（23）	研究成果の報告。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正する。

授業形式
・授業形態は③部分対面型とする。 ・質問等のフィードバックは、講義内で行う。 ・質問等は Ecolink または Gmail から受け付ける。 ・アクティブ・ラーニングを実施する（実施方法の詳細は初回に説明する）。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
研究論文の出来がすべてである。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
特になし。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	13
担当教員	佐藤 温	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 5	単位区分	選
講義室	3105	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 近世の語彙や文法に関する知識を身につけ、古典文を読解することができる。 2. 作品の読解を通して近世の文化について考え、その特徴を時代背景とともに説明することができる。 3. 近世の歴史や社会のあり方について、文化との関わりから理解し、説明することができる。 対応 D P, C P : 1, 2, 6, 7, 8,
授業概要（教育目的）
日本の近世（江戸時代）の文学作品を読みながら、その表現や思想の特徴、ならびに当時の文化や社会のあり方について解説していきます。近世の人々が、それ以前の文学の伝統を受け継ぎつつ、新しい文学をどのように作り出していったかという観点を中心に、当時の文学作品の意義について考察します。自らの力で歴史的な作品や文献を読み解くことにより、その意味を理解する力とともに、現代の社会や文化を新たな角度から考える力も涵養してもらいたいと思います。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	今年度の学習内容と授業実施方法を確認する。 【事前学習】2 時間 春期休暇中の課題の内容を再確認する。 【事後学習】2 時間 今後の論文執筆の日程を考える。
第 2 回	先行研究の確認	各自のテーマに関する先行研究についてまとめる方法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 これまで作成した文献リストの内容を確認する。 【事後学習】2 時間 授業内容に基づいて今後の文献調査の方向性について考える
第 3 回	論文執筆の基本（1）	文献の検索・収集の方法について学ぶ。 【事前学習】2 時間 インターネット検索などを利用して文献の調査を行う。 【事後学習】2 時間 授業内容に基づいて調査方法や調査対象などを見直し、今後の調査に反映させる。
第 4 回	論文執筆の基本（2）	論文の構成について学ぶ。 【事前学習】2 時間 論文の構成を考え、疑問点を確認する。 【事後学習】2 時間 授業内容に基づいて論文の構成案を修正する。
第 5 回	文献の読解（1）	主要な作品あるいは研究文献を読み、内容について報告する。（第 1 回） 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などを自分で調べつつ、重要な点や問題点をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内で取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 6 回	文献の読解（2）	主要な作品あるいは研究文献を読み、内容について報告する。（第 2 回） 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などを自分で調べつつ、重要な点や問題点をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内で取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 7 回	文献の読解（3）	主要な作品あるいは研究文献を読み、内容について報告する。（第 3 回） 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などを自分で調べつつ、重要な点や問題点をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内で取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 8 回	文献の読解（4）	主要な作品あるいは研究文献を読み、内容について報告する。（第 4 回） 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などを自分で調べつつ、重要な点や問題点をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内で取り上げられた問題点について、調査・考察をする。

第 9 回	文献の読解 (5)	主要な作品あるいは研究文献を読み、内容について報告する。(第 5 回) 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などを自分で調べつつ、重要な点や問題点をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内で取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 10 回	文献の読解 (6)	主要な作品あるいは研究文献を読み、内容について報告する。(第 6 回) 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などを自分で調べつつ、重要な点や問題点をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内で取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 11 回	文献の読解 (7)	主要な作品あるいは研究文献を読み、内容について報告する。(第 7 回) 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などを自分で調べつつ、重要な点や問題点をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内で取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 12 回	文献の読解 (8)	主要な作品あるいは研究文献を読み、内容について報告する。(第 8 回) 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などを自分で調べつつ、重要な点や問題点をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内で取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 13 回	進捗状況の報告 (1)	執筆作業の進捗状況を報告する。(第 1 回) 【事前学習】2 時間 I これまでの執筆作業の成果と課題点についてまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内容に基づいて今後の改善点を考える。
第 14 回	進捗状況の報告 (2)	執筆作業の進捗状況を報告する。(第 2 回) 【事前学習】2 時間 I これまでの執筆作業の成果と課題点についてまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内容に基づいて今後の改善点を考える。
第 15 回	まとめ	前期の内容を振り返り、今後の執筆の課題点をまとめる。 【事前学習】2 時間 今学期の資料を全体的に読み直し、内容を再確認する。 【事後学習】2 時間 夏期休暇中の課題に取り組むために必要な準備を行う。
第 16 回	進捗状況の報告 (3)	執筆作業の進捗状況を報告する。(第 3 回) 【事前学習】2 時間 これまでの執筆作業の成果と課題点についてまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内容に基づいて今後の改善点を考える。
第 17 回	構成の検討	内容・分量などの観点から論文の構成が適切であるか確認する。 【事前学習】2 時間 自身の論文の構成案を見直し、問題点について考える。 【事後学習】2 時間

		授業内容に基づいて構成案を修正する。
第 18 回	執筆状況の確認 (1)	各自の執筆作業を進める上で懸案となっている事柄について確認する。(第 1 回) 【事前学習】2 時間 作品・研究文献の読解, あるいは執筆における問題点の整理を行う。 【事後学習】2 時間 授業で理解した内容に基づいて修正などを行いつつ執筆を進める。
第 19 回	執筆状況の確認 (2)	各自の執筆作業を進める上で懸案となっている事柄について確認する。(第 2 回) 【事前学習】2 時間 作品・研究文献の読解, あるいは執筆における問題点の整理を行う。 【事後学習】2 時間 授業で理解した内容に基づいて修正などを行いつつ執筆を進める。
第 20 回	執筆状況の確認 (3)	各自の執筆作業を進める上で懸案となっている事柄について確認する。(第 3 回) 【事前学習】2 時間 作品・研究文献の読解, あるいは執筆における問題点の整理を行う。 【事後学習】2 時間 授業で理解した内容に基づいて修正などを行いつつ執筆を進める。
第 21 回	執筆状況の確認 (4)	各自の執筆作業を進める上で懸案となっている事柄について確認する。(第 4 回) 【事前学習】2 時間 作品・研究文献の読解, あるいは執筆における問題点の整理を行う。 【事後学習】2 時間 授業で理解した内容に基づいて修正などを行いつつ執筆を進める。
第 22 回	執筆状況の確認 (5)	各自の執筆作業を進める上で懸案となっている事柄について確認する。(第 5 回) 【事前学習】2 時間 作品・研究文献の読解, あるいは執筆における問題点の整理を行う。 【事後学習】2 時間 授業で理解した内容に基づいて修正などを行いつつ執筆を進める。
第 23 回	進捗状況の報告 (4)	執筆作業の進捗状況を報告する。(第 4 回) 【事前学習】2 時間 I これまでの執筆作業の成果と課題点についてまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内容に基づいて今後の改善点を考える。
第 24 回	論文の書式について	注釈や文献の表記などを中心に, 論文の書式について学ぶ。 【事前学習】2 時間 書式について不明な点や疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業で理解した内容に基づいて修正などを行いつつ執筆を進める。
第 25 回	執筆状況の確認 (6)	各自の執筆作業を進める上で懸案となっている事柄について確認する。(第 6 回) 【事前学習】2 時間 作品・研究文献の読解, あるいは執筆における問題点の整理を行う。 【事後学習】2 時間 授業で理解した内容に基づいて修正などを行いつつ執筆を進める。
第 26 回	執筆状況の確認 (7)	各自の執筆作業を進める上で懸案となっている事柄について確認する。(第 7 回) 【事前学習】2 時間 作品・研究文献の読解, あるいは執筆における問題点の整理を行う。 【事後学習】2 時間

		授業で理解した内容に基づいて修正などを行いつつ執筆を進める。
第 27 回	執筆状況の確認 (8)	各自の執筆作業を進める上で懸案となっている事柄について確認する。(第 8 回) 【事前学習】2 時間 作品・研究文献の読解, あるいは執筆における問題点の整理を行う。 【事後学習】2 時間 授業で理解した内容に基づいて修正などを行いつつ執筆を進める。
第 28 回	進捗状況の報告 (5)	執筆作業の進捗状況を報告する。(第 5 回) 【事前学習】2 時間 I これまでの執筆作業の成果と課題点についてまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内容に基づいて今後の改善点を考える。
第 29 回	執筆を振り返る	提出した論文の執筆過程を振り返る。 【事前学習】2 時間 執筆作業の反省点を整理する。 【事後学習】2 時間 授業内容に基づいて今後の改善点を考える。
第 30 回	まとめ (論文の講評)	提出した論文の講評を行う。 【事前学習】2 時間 論文を読み直し, 内容を再確認する。 【事後学習】2 時間 講評の内容に基づいて論文の自己評価を行う。

授業形式
授業形態は「①同時双方向型」とする。 質問等は Gmail で受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	30%	70%	100%
評価の特記事項					
論文に加えて、授業への参画度や執筆への取り組みなども評価の対象とする。					

テキスト
特になし。
参考文献
特になし。
オフィスパワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
特になし。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	14
担当教員	篠ヶ谷 圭太	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限		単位区分	選
講義室		単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では以下の能力を身につけることを目指します。 1) 教授・学習に関する心理学の理論（記憶，メタ認知，動機づけなど）について説明できる。 2) 教授・学習に関する心理学的な様々な研究法について理解し，説明できる。 3) 教授・学習に関する心理学研究の知見をもとに様々な人の意見や考えを比較し，統合することができる。 4) 収集したデータについて統計的な分析を行い，結果を解釈した上で，自身の提言につなげることができる。 対応 DP 及び CP: 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
この授業では，各自が教授・学習過程に関する問いを設定した上で，収集したデータを分析し，論文の執筆を行います。また，執筆した論文の内容についてプレゼンテーションを行ってもらい，学生同士で意見交換を行います。一連の活動を通じて，心理学の研究法や統計的な分析手法に関する知識，分析結果を解釈するスキル，説得的な文章を構成するスキル，プレゼンテーションスキルとディスカッションスキルの獲得，向上を目指します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	研究課題の設定	これまで読んだ論文や自身の学習経験から問いを選定し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 情報探索を行い、自分なりの問いを設定しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめる。
第 2 回	研究課題の設定	これまで読んだ論文や自身の学習経験から問いを選定し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 情報探索を行い、自分なりの問いを設定しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめる。
第 3 回	研究課題の設定	これまで読んだ論文や自身の学習経験から問いを選定し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 情報探索を行い、自分なりの問いを設定しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめる。
第 4 回	研究課題の設定	これまで読んだ論文や自身の学習経験から問いを選定し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 情報探索を行い、自分なりの問いを設定しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめる。
第 5 回	先行研究の概観と報告	自身の設定した問いに関する先行研究の知見を報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 6 回	先行研究の概観と報告	自身の設定した問いに関する先行研究の知見を報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 7 回	先行研究の概観と報告	自身の設定した問いに関する先行研究の知見を報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 8 回	先行研究の概観と報告	自身の設定した問いに関する先行研究の知見を報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。

		【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 9 回	先行研究の概観と報告	自身の設定した問いに関する先行研究の知見を報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 10 回	先行研究の概観と報告	自身の設定した問いに関する先行研究の知見を報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 11 回	研究計画の立案と検討	先行研究の知見にもとづき、各自が研究の研究計画を発表し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の研究計画を修正する。
第 12 回	研究計画の立案と検討	先行研究の知見にもとづき、各自が研究の研究計画を発表し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の研究計画を修正する。
第 13 回	研究計画の立案と検討	先行研究の知見にもとづき、各自が研究の研究計画を発表し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の研究計画を修正する。
第 14 回	研究計画の立案と検討	先行研究の知見にもとづき、各自が研究の研究計画を発表し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の研究計画を修正する。
第 15 回	研究計画の立案と検討	先行研究の知見にもとづき、各自が研究の研究計画を発表し、議論を行う。 【事前学習】2 時間

		授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の研究計画を修正する。
第 16 回	データの収集と分析	研究計画にもとづいてデータを収集、分析し、報告する。 【事前学習】2 時間 自分の収集したデータを分析し、報告資料をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、まとめておく。
第 17 回	データの収集と分析	研究計画にもとづいてデータを収集、分析し、報告する。 【事前学習】2 時間 自分の収集したデータを分析し、報告資料をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、まとめておく。
第 18 回	データの収集と分析	研究計画にもとづいてデータを収集、分析し、報告する。 【事前学習】2 時間 自分の収集したデータを分析し、報告資料をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、まとめておく。
第 19 回	データの収集と分析	研究計画にもとづいてデータを収集、分析し、報告する。 【事前学習】2 時間 自分の収集したデータを分析し、報告資料をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、まとめておく。
第 20 回	データの収集と分析	研究計画にもとづいてデータを収集、分析し、報告する。 【事前学習】2 時間 自分の収集したデータを分析し、報告資料をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、まとめておく。
第 21 回	論文の執筆と報告	各自、執筆を進めた箇所について報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 論文を執筆し、資料を用意する。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の論文の修正を行う。
第 22 回	論文の執筆と報告	各自、執筆を進めた箇所について報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 論文を執筆し、資料を用意する。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の論文の修正を行う。
第 23 回	論文の執筆と報告	各自、執筆を進めた箇所について報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 論文を執筆し、資料を用意する。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の論文の修正を行う。
第 24 回	論文の執筆と報告	各自、執筆を進めた箇所について報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 論文を執筆し、資料を用意する。 【事後学習】2 時間

		授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の論文の修正を行う。
第 25 回	論文の執筆と報告	各自、執筆を進めた箇所について報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 論文を執筆し、資料を用意する。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の論文の修正を行う。
第 26 回	論文の執筆と報告	各自、執筆を進めた箇所について報告し、議論を行う。 【事前学習】2 時間 論文を執筆し、資料を用意する。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、自身の論文の修正を行う。
第 27 回	研究成果の発表	執筆した論文の内容をパワーポイントで発表する 【事前学習】2 時間 スライドの資料を用意する。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、まとめる。
第 28 回	研究成果の発表	執筆した論文の内容をパワーポイントで発表する 【事前学習】2 時間 スライドの資料を用意する。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、まとめる。
第 29 回	研究成果の発表	執筆した論文の内容をパワーポイントで発表する 【事前学習】2 時間 スライドの資料を用意する。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、まとめる。
第 30 回	研究成果の発表	執筆した論文の内容をパワーポイントで発表する 【事前学習】2 時間 スライドの資料を用意する。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、まとめる。

授業形式
授業形態は「③同時双方向型」とする。 質問は授業内および EcoLink と Gmail で受け付け、授業内でフィードバックを行う。 学生による発表と小グループでのディスカッションを中心に進める。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	30%	70%	100%
評価の特記事項					
論文およびプレゼンテーションの質（70%），議論への参画度（30%）で評価します。					

テキスト
参考文献
南風原朝和・市川伸一・下山晴彦（編著） 心理学研究法入門－調査・実験から実践まで－ 東京大学出版会 村井潤一郎・藤川麗（編著） 心理学研究法（公認心理士の基礎と実践） 遠見書房
オフィスアワー
月曜 14:30～16:00 水曜 10:40～13:00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
積極的に自分なりの考えや解釈を伝え，他者の意見と統合して学習を深めようとする姿勢を強く求めます。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	15
担当教員	清水 純	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	3073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、4 年次の研究論文の授業において、以下の能力を発展させることを目指します。 ①これまで 2 年間にわたるゼミでの学習と活動を通じて得られた知識を応用する力。 ②自分で問題意識をもってテーマを選ぶ能力。 ③これまでの学習によって身に着けた研究方法を活用して、調査・考察を進める能力。 ④研究成果を、論文作成の形式に従って長文の論文にまとめる能力。 対応 DP および CP：1，2，6，7，8
授業概要（教育目的）
ゼミ全体で、論文テーマの選定に関する議論を行い、また論文作成に関する形式面での注意事項を確認し、各自が研究したいテーマを選ぶ。テーマの選び方については、食や食文化に関わることに限定せず、ゼミ生の個々の関心事項に照らして自由に選択するものとする。過去 2 年間は食文化について学習しながら、1 万 2 千字程度の長文のレポート作成も行っているため、ある程度は個人で研究考察を行う下地ができており、研究論文ではそれを活用して、研究を進め、2 万字以上を目標とした長文の論文作成を目指す。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の内容、授業の形式、評価方法についての説明を行い、履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 2, 3 年次の学習内容について復習しておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、今年度の各自の全体的な授業計画や就職活動等の見通しの中で、論文作成をどのように計画的に進めるかについての心構えを確認する。
第 2 回	研究論文とは何か	これまでに作成したレポートと、研究論文の相違点を自覚し、執筆のための論文構成の作り方について学習する。 【事前学習】2 時間 2 年次に自分が作成した長文レポート、3 年次に作成した自主研究レポートをよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 先輩たちの書いた研究論文を参照する。
第 3 回	研究論文のテーマ	各自のテーマを考えるため、各自がテーマの候補を複数探して提出する。 【事前学習】2 時間 先輩たちの研究論文を参照する。 【事後学習】2 時間 研究テーマについて引き続き候補を挙げる。
第 4 回	テーマと参考文献	候補として挙げたテーマについて、それぞれ参考にすることのできる文献にはどのようなものがあるかを各自で調べる。学部図書館のほか、専門図書館のサイトなどを参照し、テーマに則した文献を探す。 【事前学習】2 時間 研究テーマ候補について、参考文献をさらに自分で調べる。 【事後学習】2 時間 参考文献を調べる。
第 5 回	研究テーマに関する文献検索	研究テーマの候補に対する文献探しを進める。また、それぞれの文献の内容について確認をする。 【事前学習】2 時間 研究テーマ候補について、参考文献を各自で調べる。 【事後学習】2 時間 研究テーマ候補について、参考文献を各自で調べる。
第 6 回	テーマ候補のリスト化	各自が研究テーマの候補として挙げたテーマごとに、利用可能な文献を探してリスト化する。 【事前学習】2 時間 図書館等で文献の内容を確認する。 【事後学習】2 時間 図書館等で文献の内容を確認する。
第 7 回	テーマの絞り込み	リスト化した研究テーマの候補について検討を加え、参考文献の検索結果とあわせ、テーマの絞り込みを行う。 【事前学習】2 時間 各自テーマと文献のリストを完成させる。 【事後学習】2 時間 リスト内の文献の講読を開始する。
第 8 回	テーマの絞り込み	研究テーマ候補についてのリストに基づき、指導を受ける。さらに研究テーマの絞り込みを進める。 【事前学習】2 時間 リスト内の文献の下読みを行う。

		【事後学習】2 時間 リスト内の文献の下読みを行う。
第 9 回	テーマの絞り込み	研究課題に関連する文献リストの中から、使用する文献について概要をまとめて報告する。 【事後学習】2 時間 リスト内の文献の下読みを行う。 【事後学習】2 時間 リスト内の文献の下読みを行う。
第 10 回	テーマの決定（仮）	絞り込んだ研究テーマのリストに基づいて、各自が研究テーマを仮決定する。 【事後学習】2 時間 利用する文献リストを作成する。 【事前学習】2 時間 前回授業での話し合いを振り返り、リストを完成させる。
第 11 回	研究論文の講読	卒業生の研究論文の講読を行い、研究テーマの探究と展開がどのように進められているかを検討する。 【事前学習】2 時間 論文を読んでおく。 【事後学習】2 時間 学習内容をもとに、自分の研究論文の展開を考える。
第 12 回	研究論文の講読	卒業生の研究論文の講読を行い、研究課題の展開について検討する。 【事前学習】2 時間 論文を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに、自分の研究課題の展開を考える。
第 13 回	文献の講読と執筆準備	文献の講読を進め、論文に必要な個所を探す。 【事前学習】2 時間 論文を読んでおく。 【事後学習】2 時間 講読内容をもとに、自分の研究論文の具体的な展開を考える。
第 14 回	文献の講読と執筆準備	文献の講読を進め、論文に必要な個所を探す。 【事前学習】2 時間 論文を読んでおく。 【事後学習】2 時間 講読内容をもとに、自分の研究論文の具体的な展開を考える。
第 15 回	文献の講読と執筆準備	研究テーマに沿って文献を読み、論文に必要な個所を探す。 【事前学習】2 時間 論文を読んでおく。 【事後学習】2 時間 学習内容をもとに、自分の研究論文の展開を考える。
第 16 回	論文の構成	論文の構成に関する基本的な方法を学習し、章立ての立て方と論旨の進め方についての注意事項を確認する。 【事前学習】2 時間 自分の論文構成について概要をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をフィードバックし、章立ての検討を進める。
第 17 回	章立ての検討	各自が考えた自分の論文の章立てについてまとめたものをもとに内容を検討する。 【事前学習】2 時間 論文の章立てについて先行研究を参照しておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をフィードバックし、章立ての検討を進める。
第 18 回	参考文献の講読と検討	自分の研究課題に沿って講読を進め、文献の内容をまとめて論文を書き進

		める。必要に応じて文献を追加し、章立てを変更するなどの構成についての再検討を行う。 【事前学習】2 時間 論文に使用する資料を読み進める。 【事後学習】2 時間 教員によるコメントをフィードバックし、研究課題の考察を進める。
第 19 回	参考文献の講読と検討	自分の研究課題に沿って参考文献の講読を行い、読み進んだ文献の内容をまとめ、論旨の進め方を確認する。 【事前学習】2 時間 自分が論文に使用する資料を読んでまとめておく。 【事後学習】2 時間 教員によるコメントをフィードバックし、研究課題の考察を進める。
第 20 回	参考文献の講読と検討	自分の研究課題に沿って参考文献の講読を行い、各自が読み進んだ文献の内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 自分が論文に使用する資料を読んでまとめておく。 【事後学習】2 時間 教員によるコメントをフィードバックし、研究課題の考察を進める。
第 21 回	参考文献の講読と検討	自分の研究課題に沿って参考文献の講読を行い、論文構成に従って読み進んだ文献内容をまとめ、分析を進める。 【事前学習】2 時間 自分が論文に使用する資料を読んでまとめておく。 【事後学習】2 時間 教員によるコメントをフィードバックし、研究課題の考察を進める。
第 22 回	中間報告	各自の論文の進捗状況をもとに、論文の中間報告を行う。これまでに書き上げた論文草稿をまとめて提出する。 【事前学習】2 時間 草稿を作成する。 【事後学習】2 時間 授業での検討内容についてフィードバックし、論文の考察をさらに深める。
第 23 回	執筆と添削	論文草稿をさらに書き進め、添削を受ける。 【事前学習】2 時間 読んだ文献や資料をもとに、研究論文の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 教員による指導と添削のフィードバックに基づき、研究課題の考察を進める。
第 24 回	執筆と添削	論文草稿を書き進め、添削を受ける。 【事前学習】2 時間 資料の分析を進め、研究論文の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 教員による添削のフィードバックに基づき、研究課題の考察を進める。
第 25 回	序文と結論	序文の書き方や結論における分析の記述方法について、基本的な方法と注意点について学習する。 【事前学習】2 時間 資料の分析を進め、研究論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 添削のフィードバックに基づき、研究論文を修正する。
第 26 回	執筆と添削	論文草稿の添削を受ける。 【事前学習】2 時間 資料の分析を進め、研究論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 添削のフィードバックに基づき、研究論文を修正する。
第 27 回	執筆と添削	論文草稿の添削指導を受ける。

		【事前学習】2 時間 資料の分析を進め、研究論文の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 添削のフィードバックに基づき、研究論文を修正する。
第 28 回	執筆と添削	仕上がりに向けて、論文草稿をまとめ、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 研究論文の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 添削のフィードバックに基づき、研究課題の考察と論文の修正を進める。
第 29 回	論文の仕上げ	仕上がった論文について、形式面なども含めて最終的な添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 研究論文の草稿を仕上げる。 【事後学習】2 時間 添削のフィードバックに基づき、論文を完成させる。
第 30 回	論文発表	提出した論文について、各自が要旨及び結論部分についての報告を行う。 【事前学習】2 時間 発表要旨をまとめる。 【事後学習】2 時間 本年の授業において、長文の論文を書くことから学んだことについて振り返る。

授業形式	
・オンライン対面形式（Zoom）の授業による指導と、G メールによるオンデマンド授業を組み合わせる。 ・質問等は授業時間にかかわらず、いつでも G メールにより受け付ける。 ・教員による個別指導を詳細に行うこととする。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	30%	50%	1
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
オンライン対面による相談を希望する場合には、G メールによりアポイントを取り、日時を決める。 または、G メールでの質問を随時受け付ける。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	16
担当教員	杉藤 久志	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 西洋文化について、自分の問題意識と関連する主題を見つけ、日常的に考えを深めることができる。 2. 西洋文化について書かれた本を日常的に読み、その主題を要約して文章でまとめ、さらに自分の視点からその考えを批評できるようになる。 3. 先行研究の整理と、自身の研究との違い（独自性）を明確に伝えられるようになる。 4. 結論と論証からなる論理構成を持った文章が書けるようになる。 対応 DP および CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では、自分が選んだ主題にかんする学術論文を完成させるための学習を行います。技術的には、先行研究の整理や自分の結論の差別化、および論文全体の骨組みを論理的に明解にする方法を、実践しながら学んでもらいます。論文の内容では、中世という時代区分に限らず、教養研究で扱ってきた中世から近代（あるいは現代）にかけての人間社会にたいする広い視点を研究論文の中に取り入れ、問題を深く考える力を養います。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	論文全体の構成を考える 1	昨年度まで書いてきた論文の全体の構成を整理し、章の数や議論の骨子を考えます。結論を明確にすることを目指します。 【事前学習】2 時間 論文全体の構成について、進捗状況に合わせてわかりやすく説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、論文全体の構成をさらに明解にしておくこと。
第 2 回	論文全体の構成を考える 2	昨年度まで書いてきた論文の全体の構成を整理し、章の数や議論の骨子を考えます。各章の主張を明確にすることを目指します。 【事前学習】2 時間 論文全体の構成について、進捗状況に合わせてわかりやすく説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、論文全体の構成をさらに明解にしておくこと。
第 3 回	論文全体の構成を考える 3	昨年度まで書いてきた論文の全体の構成を整理し、章の数や議論の骨子を考えます。論文の結論と各章の整合性を考えます。 【事前学習】2 時間 論文全体の構成について、進捗状況に合わせてわかりやすく説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、論文全体の構成をさらに明解にしておくこと。
第 4 回	先行研究と独自性 1	先行研究で主張されてきたことをまとめ、自分の結論の差別化をはかります。自分の論点と関連づけるための先行研究のまとめ方を学びます。 【事前学習】2 時間 先行研究をまとめ、自分の論文にできる貢献を整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、論文の独自性をさらに明解にしておくこと。
第 5 回	先行研究と独自性 2	先行研究で主張されてきたことをまとめ、自分の結論の差別化をはかります。先行研究で不足している点を議論する方法を学びます。 【事前学習】2 時間 先行研究をまとめ、自分の論文にできる貢献を整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、論文の独自性をさらに明解にしておくこと。
第 6 回	先行研究と独自性 3	先行研究で主張されてきたことをまとめ、自分の結論の差別化をはかります。自分の論文が先行研究のどの点を更新できるか、くわしく考えます。 【事前学習】2 時間 先行研究をまとめ、自分の論文にできる貢献を整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、論文の独自性をさらに明解にしておくこと。
第 7 回	序章の整理 1	序章を明解に書き直します。導入と先行研究のつながりが自然になるよう意識します。 【事前学習】2 時間 序章の構成を授業で明解に説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、序章の追記・書き直しをすること。
第 8 回	序章の整理 2	序章を明解に書き直します。結論が冒頭ではっきり示されるよう意識します。 【事前学習】2 時間 序章の構成を授業で明解に説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間

		授業での添削を元に、序章の追記・書き直しをすること。
第 9 回	序章の整理 3	序章を明解に書き直します。序章に論文全体の構成がうまく説明されているよう意識します。 【事前学習】2 時間 序章の構成を授業で明解に説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、序章の追記・書き直しをすること。
第 10 回	情報の整理と議論の加え方 1	追加で読むべき参考文献の要約、およびそれに対する批判や発展的議論を書き加えます。 【事前学習】2 時間 参考文献を読み進め、自分の主張の中にうまく取り入れられるよう考えておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、本論の追記・書き直しをすること。
第 11 回	情報の整理と議論の加え方 2	追加で読むべき参考文献の要約、およびそれに対する批判や発展的議論を書き加えます。 【事前学習】2 時間 参考文献を読み進め、自分の主張の中にうまく取り入れられるよう考えておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、本論の追記・書き直しをすること。
第 12 回	情報の整理と議論の加え方 3	追加で読むべき参考文献の要約、およびそれに対する批判や発展的議論を書き加えます。 【事前学習】2 時間 参考文献を読み進め、自分の主張の中にうまく取り入れられるよう考えておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、本論の追記・書き直しをすること。
第 13 回	情報の整理と議論の加え方 4	追加で読むべき参考文献の要約、およびそれに対する批判や発展的議論を書き加えます。 【事前学習】2 時間 参考文献を読み進め、自分の主張の中にうまく取り入れられるよう考えておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、本論の追記・書き直しをすること。
第 14 回	研究中間発表 1	研究の進捗について、原稿と資料を用意して発表します。参加者は研究が発展するような肯定的批評を行います。 【事前学習】2 時間 各自で自分の研究発表のための資料を作成します。 【事後学習】2 時間 他のメンバーの研究を聞き、自身の研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 15 回	研究中間発表 2	研究の進捗について、原稿と資料を用意して発表します。参加者は研究が発展するような肯定的批評を行います。 【事前学習】2 時間 各自で自分の研究発表のための資料を作成します。 【事後学習】2 時間 他のメンバーの研究を聞き、自身の研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 16 回	参考文献の検索（応用） 1	新たに必要となった議論の項目に対し、より詳しく書かれている論文を探し、整理します。 【事前学習】2 時間

		検索する言葉の範囲を広げるなどし、参考文献をさらに多く見つけてくること。 【事後学習】2 時間 授業中の助言を元に、論文の検索を続けること。
第 17 回	参考文献の検索（応用） 2	新たに必要となった議論の項目に対し、より詳しく書かれている論文を探し、整理します。 【事前学習】2 時間 検索する言葉の範囲を広げるなどし、参考文献をさらに多く見つけてくること。 【事後学習】2 時間 授業中の助言を元に、論文の検索を続けること。
第 18 回	参考文献の検索（応用） 3	新たに必要となった議論の項目に対し、より詳しく書かれている論文を探し、整理します。 【事前学習】2 時間 検索する言葉の範囲を広げるなどし、参考文献をさらに多く見つけてくること。 【事後学習】2 時間 授業中の助言を元に、論文の検索を続けること。
第 19 回	情報の整理と議論の加え方 5	追加で読むべき参考文献の要約、およびそれに対する批判や発展的議論を書き加えます。 【事前学習】2 時間 参考文献を読み進め、自分の主張の中にうまく取り入れられるよう考えておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、本論の追記・書き直しをすること。
第 20 回	情報の整理と議論の加え方 6	追加で読むべき参考文献の要約、およびそれに対する批判や発展的議論を書き加えます。 【事前学習】2 時間 参考文献を読み進め、自分の主張の中にうまく取り入れられるよう考えておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、本論の追記・書き直しをすること。
第 21 回	情報の整理と議論の加え方 7	追加で読むべき参考文献の要約、およびそれに対する批判や発展的議論を書き加えます。 【事前学習】2 時間 参考文献を読み進め、自分の主張の中にうまく取り入れられるよう考えておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、本論の追記・書き直しをすること。
第 22 回	論文全体の構成を考える 4	論文の全体の構成をいまいちど整理し、結論と各章の議論が明快な論理でつながっているか振り返ります。結論を本論に合わせて調整することも考えます。 【事前学習】2 時間 論文全体の構成を授業で明解に説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、追記・書き直しをすること。
第 23 回	論文全体の構成を考える 5	論文の全体の構成をいまいちど整理し、結論と各章の議論が明快な論理でつながっているか振り返ります。論証が弱くなっている章がある場合、主張を書き足すようにします。 【事前学習】2 時間 論文全体の構成を授業で明解に説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、追記・書き直しをすること。
第 24 回	論文全体の構成を考える 6	論文の全体の構成をいまいちど整理し、結論と各章の議論が明快な論理でつながっているか振り返ります。各章のバランスは適切かどうか自己評価しま

		す。 【事前学習】2 時間 論文全体の構成を授業で明解に説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、追記・書き直しをすること。
第 25 回	参考文献表と書式の整理 1	脚注や参考文献表の書き方、および文章表現に改善点がないか振り返ります。日本語表記が不自然になっているところを書き直します。 【事前学習】2 時間 論旨も含めた論文の見直しを行い、授業前に提出すること。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、追記・書き直しをすること。
第 26 回	参考文献表と書式の整理 2	脚注や参考文献表の書き方、および文章表現に改善点がないか振り返ります。文中の情報にたいして、適切な引用情報が示されるよう書き直します。 【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事前学習】2 時間 論旨も含めた論文の見直しを行い、授業前に提出すること。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、追記・書き直しをすること。
第 27 回	参考文献表と書式の整理 3	脚注や参考文献表の書き方、および文章表現に改善点がないか振り返ります。引用と自分の言葉が明確に区別されているよう、詳細に書き直します。 【事前学習】2 時間 論旨も含めた論文の見直しを行い、授業前に提出すること。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、追記・書き直しをすること。
第 28 回	参考文献表と書式の整理 4	脚注や参考文献表の書き方、および文章表現に改善点がないか振り返ります。最初から通して読んだ時に、議論が明解に書けているかを自己評価します。 【事前学習】2 時間 論旨も含めた論文の見直しを行い、授業前に提出すること。 【事後学習】2 時間 授業での添削を元に、追記・書き直しをすること。
第 29 回	研究発表 1	研究の成果について、原稿と資料を用意して発表します。参加者は研究が発展するような肯定的批評を行います。 【事前学習】2 時間 各自で自分の研究発表のための資料を作成します。 【事後学習】2 時間 他のメンバーの研究を聞き、自身の研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 30 回	研究発表 2	研究の成果について、原稿と資料を用意して発表します。参加者は研究が発展するような肯定的批評を行います。 【事前学習】2 時間 各自で自分の研究発表のための資料を作成します。 【事後学習】2 時間 他のメンバーの研究を聞き、自身の研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」とします。 ・質問や論文の添削などのフィードバックは、授業および Google Classroom を通じて行います。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	1
評価の特記事項					
「授業への参画度」には、研究中間報告が含まれます。「レポート」は、最終的に提出する「研究論文」により評価します。					

テキスト
特になし
参考文献
特になし
オフィスアワー
火曜 5 限に質問や相談を受け付けます。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
論文は長い期間をかけて、少しずつ進める作業が必要です。昨年度から引き続き、短い目標を立てながら、読書と思索を日常的に繰り返していけば、必ずよいものが書けます。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	17
担当教員	鈴木 基子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 2	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
中国の社会と文化に関するテーマを選び、2 万字の研究論文を作成する。 対応 DP 及び CP: 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
2 年間ゼミで学んだ知識と語学力を生かして、中国の社会と文化に関するテーマの研究論文を作成する。 時々、全体で中間発表を行うが、個別指導が中心となる。 研究論文作成過程で培われた方法と完成させる意欲及び実行力は、社会人となってもレポート作成に役立つであろう。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	①小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート論文術』（講談社現代新書）を読む	小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート論文術』（講談社現代新書）の前半を分担して読む。 【事前学習】2 時間 春休みの課題として課していた書籍を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに、研究課題を検討する。
第 2 回	①小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート論文術』（講談社現代新書）を読む	小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート論文術』（講談社現代新書）の後半を分担して読む。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題を検討する。
第 3 回	②研究課題の設定	研究課題の設定ができるようにする。 【事前学習】2 時間 第 1 回と第 2 回の内容をよく振り返る。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題を設定する。
第 4 回	③先行研究の資料収集方法について	図書館のホームページから、各自が決めた研究課題の資料を検索して、具体的に資料を入手する。 【事前学習】2 時間 研究課題を確定する。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。
第 5 回	③先行研究の資料収集方法について	図書館のホームページから、各自が決めた研究課題の資料を検索して、具体的に資料を入手する。 【事前学習】2 時間 研究課題を確定する。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。
第 6 回	③先行研究の資料収集方法について	図書館のホームページから、各自が決めた研究課題の資料を検索して、具体的に資料を入手する。 【事前学習】2 時間 研究課題を確定する。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。
第 7 回	③先行研究の資料収集方法について	図書館のホームページから、各自が決めた研究課題の資料を検索して、具体的に資料を入手する。 【事前学習】2 時間 研究課題を確定する。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。
第 8 回	④全体での進捗状況の報告	学生全員が集まり、それぞれのテーマと資料収集、および内容理解の進捗状況を報告する。 【事前学習】2 時間 収集した資料一覧を作成し、報告内容について考える。 【事後学習】2 時間 自分やほかの人が報告して質問された点や、気づいたことから、今後の方向性を考える。
第 9 回	⑤資料収集と読み込み	引き続き、論文の目的と方法論を考えながら、先行研究の資料を収集し、内容を読む。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。
第 10 回	⑤資料収集と読み込み	引き続き、論文の目的と方法論を考えながら、先行研究の資料を収集し、内容を読む。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。
第 11 回	⑤資料収集と読み込み	引き続き、論文の目的と方法論を考えながら、先行研究の資料を収集し、内容を読む。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。
第 12 回	⑤資料収集と読み込み	引き続き、論文の目的と方法論を考えながら、先行研究の資料を収集し、内容を読む。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容をもとに研究課題との関連性を検討する。

第 13 回	⑥研究論文のテーマ、研究目的、研究方法について報告する。	数か月の資料収集と内容の理解を通して設定した研究テーマ、目的、方法について報告する。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分やほかの人が、報告して考え直した点や、気づいたことから、論文の方向性を再確認する。夏休みに 1 万字執筆を宿題とする。
第 14 回	⑥研究論文のテーマ、研究目的、研究方法について報告する。	数か月の資料収集と内容の理解を通して設定した研究テーマ、目的、方法について報告する。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分やほかの人が、報告して考え直した点や、気づいたことから、論文の方向性を再確認する。夏休みに 1 万時執筆を宿題とする。
第 15 回	⑥研究論文のテーマ、研究目的、研究方法について報告する。	数か月の資料収集と内容の理解を通して設定した研究テーマ、目的、方法について報告する。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分やほかの人が、報告して考え直した点や、気づいたことから、論文の方向性を再確認する。夏休みに 1 万字執筆を宿題とする。
第 16 回	⑦研究論文中間報告	研究論文の前半 1 万字の内容を発表し、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 発表レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 質疑応答から得た意見を、どのように反映させるか、自身の思索とともに内容を修正する。
第 17 回	⑦研究論文中間報告	研究論文の前半 1 万字の内容を発表し、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 発表レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 質疑応答から得た意見を、どのように反映させるか自身の思索とともに内容の修正する。
第 18 回	⑧研究論文後半部分への着手	引き続き、資料を収集し、読み込みを行い、研究論文の後半を執筆する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正する。
第 19 回	⑧研究論文後半部分への着手	引き続き、資料を収集し、読み込みを行い、研究論文の後半を執筆する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。
第 20 回	⑧研究論文後半部分への着手	引き続き、資料を収集し、読み込みを行い、研究論文の後半を執筆する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。
第 21 回	⑧研究論文後半部分への着手	引き続き、資料を収集し、読み込みを行い、研究論文の後半を執筆する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。
第 22 回	⑧研究論文後半部分への着手	引き続き、資料を収集し、読み込みを行い、研究論文の後半を執筆する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。
第 23 回	⑨研究論文全体を通して読む	序論、各章のつながり、文脈の流れ、結論、見通しを考える。 【事前学習】2 時間 何度も論文全体を見直す。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。
第 24 回	⑨研究論文全体を通して読む	序論、各章のつながり、文脈の流れ、結論、見通しを考える。 【事前学習】2 時間 何度も論文全体を見直す。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。
第 25 回	⑨研究論文全体を通して読む	序論、各章のつながり、文脈の流れ、結論、見通しを考える。 【事前学習】2 時間 何度も論文全体を見直す。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。
第 26 回	⑨研究論文全体を通して読む	序論、各章のつながり、文脈の流れ、結論、見通しを考える。 【事前学習】2 時間 何度も論文全体を見直す。

第 27 回	⑩全体修正	【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。 誤字、脱字、脚注、出典記載方法、自作の図表など、細かい部分を見直す。 【事前学習】2 時間 全体修正を行う。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。
第 28 回	⑩全体修正	誤字、脱字、脚注、出典記載方法、自作の図表など、細かい部分を見直す。 【事前学習】2 時間 全体修正を行う。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。
第 29 回	⑩全体修正	誤字、脱字、脚注、出典記載方法、自作の図表など、細かい部分を見直す。 【事前学習】2 時間 全体修正を行う。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに論文を修正をする。
第 30 回	⑪研究論文発表	各自が作成した研究論文の内容について発表する。 【事前学習】2 時間 論文要旨、構成などのレジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 1 年間の作成経過を通して、社会人となった時、レポート作成時に生かせる点を振り返る。

授業形式	
②オンデマンド型 ③部分対面型 年間数回、全体での中間発表や報告を行うが、ほかは個別指導を中心とする。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
日頃の地道な努力を評価いたします。					

テキスト
小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート論文術』講談社現代新書
参考文献
授業時に個別に紹介させていただきます。
オフィシアワー
事前にメールで予約をしてください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
春から、少しずつ準備しましょう。 日々の地味な努力の積み上げを評価いたします。 突貫工事は避けるようにお願いいたします。 就職活動や資格試験に影響がないように、早めにコツコツと計画性をもって進めましょう。 （フィールドワークやアンケート調査も歓迎しますが、時局をよく判断してくださいように。）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	18
担当教員	武廣 亮平	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	7063	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
教養研究では以下の知識や能力を身に付けることを目指す。 1. 歴史を深く掘り下げて研究することで、歴史的事象の分析・考察・理解力を高める。 2. 研究論文の執筆を通して文章構成力、表現力のスキルアップを図るとともに、論理的な思考とそれに基づく説明力を養う。 3. 「歴史」という観点から現代社会を見通す力を養う。 対応 DP 及び CP 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
教養研究（一）、教養研究（二）で学んだ歴史的な思考力や研究姿勢と、発表を通して蓄積した研究成果を「研究論文」としてまとめる。ゼミの研究活動の集大成として、1 年間をかけて論文の作成に取り組む。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	オリエンテーションと年間予定	研究論文の概要（執筆・発表スケジュールなど）についての説明を行う 【事前学習】2 時間 春休み中の研究進捗状況の確認 【事後学習】2 時間 1 年間のスケジュールの確認
第 2 回	研究論文書式・体裁の確認	研究論文の書式・体裁について確認する（講義と質疑応答） 【事前学習】2 時間 事前配布の資料確認 【事後学習】2 時間 各自の研究論文原稿の書式・体裁の確認
第 3 回	研究論文作成個別指導 （第 1 回）（2 名）	研究論文作成の個別指導を行う（論文の主旨・構成を中心に） 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 4 回	研究論文作成個別指導 （第 1 回）（2 名）	研究論文作成の個別指導を行う（論文の主旨・構成を中心に） 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 5 回	研究論文作成個別指導 （第 1 回）（2 名）	研究論文作成の個別指導を行う（論文の主旨・構成を中心に） 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 6 回	研究論文作成個別指導 （第 1 回）（2 名）	研究論文作成の個別指導を行う（論文の主旨・構成を中心に） 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 7 回	論文作成関連文献の講読	研究論文作成に有益な関連文献を講読する 【事前学習】 事前に配布したテキストの下読み 【事後学習】 講読を通して気付いた研究論文の課題等の修正
第 8 回	研究論文作成個別指導 （第 2 回）（2 名）	研究論文作成の個別指導を行う（内容の具体的な検討作業） 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 9 回	研究論文作成個別指導 （第 2 回）（2 名）	研究論文作成の個別指導を行う（内容の具体的な検討作業） 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 10 回	研究論文作成個別指導 （第 2 回）（2 名）	研究論文作成の個別指導を行う（内容の具体的な検討作業） 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間

		指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 11 回	研究論文作成個別指導 (第 2 回) (2 名)	研究論文作成の個別指導を行う (内容の具体的な検討作業) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 12 回	中間報告会①	研究論文の中間報告を行う 【事前学習】 各自による発表の準備作業 【事後学習】 報告に対する感想コメントの作成
第 13 回	中間報告会②	研究論文の中間報告を行う 【事前学習】 各自による発表の準備作業 【事後学習】 報告に対する感想コメントの作成
第 14 回	前期課題研究	各自の研究論文に関連する課題に取り組む 【事前学習】 個々に提示された課題への取り組み 【事後学習】 課題研究の提出
第 15 回	前期総括	前期の研究論文執筆活動の振り返り 【事前学習】 前期の進捗状況の確認 【事後学習】 後期に向けての執筆計画と課題の整理
第 16 回	後期研究論文ガイダンス	後期の研究論文作成に関する指導 【事前学習】 夏休み中の進捗状況の確認 【事後学習】 夏休み中の進捗状況の報告 (レポート)
第 17 回	研究論文作成個別指導 (第 3 回) (2 名)	研究論文作成の個別指導を行う (引用史料の確認、図表の検討など) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 18 回	研究論文作成個別指導 (第 3 回) (2 名)	研究論文作成の個別指導を行う (引用史料の確認、図表の検討など) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 19 回	研究論文作成個別指導 (第 3 回) (2 名)	研究論文作成の個別指導を行う (引用史料の確認、図表の検討など) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 20 回	研究論文作成個別指導 (第 3 回) (2 名)	研究論文作成の個別指導を行う (引用史料の確認、図表の検討など) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 21 回	研究論文引用史料の説明	各自が研究論文で引用した史料 (主要なもの 2 点) について説明する

	会	【事前学習】 説明史料の準備 【事後学習】2 時間 説明会での質問等に対する追加説明資料の作成
第 22 回	研究論文作成個別指導 (第 4 回) (2 名)	研究論文作成の個別指導を行う (完成に向けての全体的な指導) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 23 回	研究論文作成個別指導 (第 4 回) (2 名)	研究論文作成の個別指導を行う (完成に向けての全体的な指導) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 24 回	研究論文作成個別指導 (第 4 回) (2 名)	研究論文作成の個別指導を行う (完成に向けての全体的な指導) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 25 回	研究論文作成個別指導 (第 4 回) (2 名)	研究論文作成の個別指導を行う (完成に向けての全体的な指導) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 26 回	研究論文作成追加指導①	研究論文作成の個別指導を行う (追加指導が必要な学生に対して) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 27 回	研究論文作成追加指導②	研究論文作成の個別指導を行う (追加指導が必要な学生に対して) 【事前学習】 指導を必要とする内容、質問項目などを整理しておく 【事後学習】2 時間 指導を受けた研究論文の加筆・修正
第 28 回	研究論文最終確認	作成した研究論文の内容の最終確認 (グループ別の読み合わせ) 【事前学習】 各自による確認 【事後学習】 読み合わせで指摘された点の修正等
第 29 回	研究論文発表会	4 年生による研究論文の発表会 【事前学習】2 時間 発表原稿の準備 【事後学習】2 時間 発表会で出された質問等への回答
第 30 回	年間総括	3 年間のゼミ活動の総括と教員による講評 【事前学習】2 時間 各自による活動内容の振り返り 【事後学習】2 時間 ゼミ感想文の作成・提出

授業形式
Google Meet または Zoom を利用したオンラインによる指導

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	10%	0%	90%	0%	1
評価の特記事項					
特に発表時における積極的な質問や意見を評価する。					

テキスト
特に指定はしない。必要に応じて資料を事前に配布する。
参考文献
オフィスアワー
木曜日 1・2 時限目
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	19
担当教員	田村 真奈美	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限		単位区分	選
講義室		単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
①テーマに即した資料の収集・整理ができる。 ②収集した資料を批判的に考察できる。 ③論理的に一貫した文章を書くことができる。 ④論点をサポートするために、資料を適切に用いることができる。 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
各自、研究論文を執筆します。前期は資料収集・分析が主となりますが、授業で進度を確認し、適宜助言をします。後期の初めに中間発表を行います。その後は主として個人指導をとおり、執筆を続け、論文を完成させます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容と進め方について説明します。また、次回までの事前学習についても詳しく説明します。 【事前学習】2 時間 EcoLink のメッセージを読み、Google Classroom にアクセスしておく。 【事後学習】2 時間 受講方法を再度確認して、わからないことがあったら EcoLink あるいは Gmail で質問する。
第 2 回	研究論文準備：資料収集	テーマに即して資料を収集する。また、資料収集上の問題を共有し、解決策を探る。 【事前学習】2 時間 収集した資料、および参照したい資料のリストを作成する。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知識を用い、さらに資料収集を続ける。
第 3 回	研究論文準備：資料収集	引き続き資料を収集する。また、資料収集上の問題を共有し、解決策を探る。 【事前学習】2 時間 収集した資料、および参照したい資料のリストを作成する。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知識を用い、さらに資料収集を続ける。
第 4 回	研究論文準備：資料収集	引き続き資料を収集する。また、資料収集上の問題を共有し、解決策を探る。 【事前学習】2 時間 収集した資料、および参照したい資料のリストを作成する。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知識を用い、さらに資料収集を続ける。
第 5 回	研究論文準備：資料収集	引き続き資料を収集する。また、資料収集上の問題を共有し、解決策を探る。 【事前学習】2 時間 収集した資料、および参照したい資料のリストを作成する。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知識を用い、さらに資料収集を続ける。
第 6 回	研究論文準備：資料収集・分析	収集した資料を分析し、研究テーマとの関連性を検討する。また、引き続き資料を収集する。 【事前学習】2 時間 収集した資料を批判的に読み込む。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知見に基づき、研究テーマとの関連性を判断する。
第 7 回	研究論文準備：資料収集・分析	収集した資料を分析し、研究テーマとの関連性を検討する。また、引き続き資料を収集する。 【事前学習】2 時間 収集した資料を批判的に読み込む。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知見に基づき、研究テーマとの関連性を判断する。
第 8 回	研究論文準備：資料収集・分析	収集した資料を分析し、研究テーマとの関連性を検討する。また、引き続き資料を収集する。 【事前学習】2 時間 収集した資料を批判的に読み込む。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知見に基づき、研究テーマとの関連性を判断する。

第 9 回	研究論文準備：資料収集・分析	収集した資料を分析し、研究テーマとの関連性を検討する。また、引き続き資料を収集する。 【事前学習】2 時間 収集した資料を批判的に読み込む。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知見に基づき、研究テーマとの関連性を判断する。
第 10 回	研究論文準備：資料収集・分析	収集した資料を分析し、研究テーマとの関連性を検討する。また、引き続き資料を収集する。 【事前学習】2 時間 収集した資料を批判的に読み込む。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知見に基づき、研究テーマとの関連性を判断する。
第 11 回	研究論文準備：資料収集・分析	収集した資料を分析し、研究テーマとの関連性を検討する。また、引き続き資料を収集する。 【事前学習】2 時間 収集した資料を批判的に読み込む。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知見に基づき、研究テーマとの関連性を判断する。
第 12 回	研究論文準備：資料収集・分析	収集した資料を分析し、研究テーマとの関連性を検討する。また、引き続き資料を収集する。 【事前学習】2 時間 収集した資料を批判的に読み込む。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知見に基づき、研究テーマとの関連性を判断する。
第 13 回	研究論文準備：資料収集・分析	収集した資料を分析し、研究テーマとの関連性を検討する。また、引き続き資料を収集する。 【事前学習】2 時間 収集した資料を批判的に読み込む。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知見に基づき、研究テーマとの関連性を判断する。
第 14 回	研究論文準備：資料収集・分析	収集した資料を分析し、研究テーマとの関連性を検討する。また、引き続き資料を収集する。 【事前学習】2 時間 収集した資料を批判的に読み込む。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知見に基づき、研究テーマとの関連性を判断する。
第 15 回	研究論文準備：資料収集・分析	収集した資料を分析し、研究テーマとの関連性を検討する。また、引き続き資料を収集する。 【事前学習】2 時間 収集した資料を批判的に読み込む。 【事後学習】2 時間 授業で得られた知見に基づき、研究テーマとの関連性を判断する。また、論文の構成を検討し、執筆に取りかかる。
第 16 回	研究論文中間発表	研究論文の中間発表を行う。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成し、提出する。 【事後学習】2 時間 他の学生・教員からのフィードバックを参考に、論文の構成を再度検討する。
第 17 回	研究論文中間発表	研究論文の中間発表を行う。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成し、提出する。 【事後学習】2 時間

		他の学生・教員からのフィードバックを参考に、論文の構成を再度検討する。
第 18 回	研究論文中間発表	研究論文の中間発表を行う。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成し、提出する。 【事後学習】2 時間 他の学生・教員からのフィードバックを参考に、論文の構成を再度検討する。
第 19 回	研究論文中間発表	研究論文の中間発表を行う。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成し、提出する。 【事後学習】2 時間 他の学生・教員からのフィードバックを参考に、論文の構成を再度検討する。
第 20 回	研究論文作成	作成中の論文について、教員とともに検討する。 【事前学習】2 時間 作成した論文の原稿をあらかじめ提出しておく。 【事後学習】2 時間 教員からのフィードバックを受けて、原稿を修正し、さらに執筆を続ける。
第 21 回	研究論文作成	作成中の論文について、教員とともに検討する。 【事前学習】2 時間 作成した論文の原稿をあらかじめ提出しておく。 【事後学習】2 時間 教員からのフィードバックを受けて、原稿を修正し、さらに執筆を続ける。
第 22 回	研究論文作成	作成中の論文について、教員とともに検討する。 【事前学習】2 時間 作成した論文の原稿をあらかじめ提出しておく。 【事後学習】2 時間 教員からのフィードバックを受けて、原稿を修正し、さらに執筆を続ける。
第 23 回	研究論文作成	作成中の論文について、教員とともに検討する。 【事前学習】2 時間 作成した論文の原稿をあらかじめ提出しておく。 【事後学習】2 時間 教員からのフィードバックを受けて、原稿を修正し、さらに執筆を続ける。
第 24 回	研究論文作成	作成中の論文について、教員とともに検討する。 【事前学習】2 時間 作成した論文の原稿をあらかじめ提出しておく。 【事後学習】2 時間 教員からのフィードバックを受けて、原稿を修正し、さらに執筆を続ける。
第 25 回	研究論文作成	作成中の論文について、教員とともに検討する。 【事前学習】2 時間 作成した論文の原稿をあらかじめ提出しておく。 【事後学習】2 時間 教員からのフィードバックを受けて、原稿を修正し、さらに執筆を続ける。
第 26 回	研究論文仮提出	完結した論文の草稿を提出し、教員とともに修正点を検討する。 【事前学習】2 時間 研究論文草稿を準備しておく。 【事後学習】2 時間 検討した修正点を修正する。
第 27 回	仮提出後の修正	修正稿を再度、教員とともに検討し、さらなる修正箇所について検討する。 【事前学習】2 時間 研究論文修正稿を準備しておく。 【事後学習】2 時間 検討した修正点を修正する。
第 28 回	仮提出後の修正	修正稿を再度、教員とともに検討し、さらなる修正箇所について検討する。

		【事前学習】2 時間 研究論文修正稿を準備しておく。 【事後学習】2 時間 検討した修正点を修正する。
第 29 回	仮提出後の修正	修正稿を再度、教員とともに検討し、さらなる修正箇所について検討する。 【事前学習】2 時間 研究論文修正稿を準備しておく。 【事後学習】2 時間 検討した修正点を修正し、完成稿を作成する。
第 30 回	まとめ	1 年間の授業を振り返り、学習内容をまとめます。 【事前学習】2 時間 これまでの授業を振り返り、疑問点などをまとめておく。 【事後学習】2 時間 研究論文作成の経験によって得た知識を、今後活用できるように整理しておく。

授業形式	
①Zoom による同時双方向授業を主とし、必要に応じて Gmail のやり取りを中心としたオンデマンド型授業を取り入れます。 質問・課題に関するフィードバックは主として授業中に行います。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	1
評価の特記事項					
レポートとは研究論文のことです。					

テキスト
必要な資料は Google Classroom を通じて配布します。
参考文献
授業中に指示します。
オフィスアワー
EcoLink のメッセージ、あるいは Gmail で連絡してください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
前期は資料収集・分析を中心に行います。後期初めの中間発表では、題目・全体の構成・参考文献リストとともに、1 章分の原稿の提出を求めますので、夏休み中に準備をしてください。後期は執筆の進み具合に応じて個々に指導します。11 月末の仮提出までに一応原稿を完成させてください。その後細かい修正をして、最終稿を完成させます。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	20
担当教員	鄭 亨奎	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
論文の書き方に関する知識を学び、自分で執筆できるようになる。 資料の収集、検索方法を学び、自分で資料を収集し検索できるようになる。 研究論文のテーマを設定し、関連する先行研究の資料を収集し、自ら分析し、研究論文にまとめることができる。 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
前期は論文の書き方に関する資料を読み、論文の書き方を身につける。各自研究論文のテーマを設定し、研究論文と関連する先行研究をめぐりプレゼンテーションを行い、質疑応答をする。 後期は各自の研究論文のプレゼンテーションを行い、教師により指導を行う。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	論文とは何か	A:文献講読： 論文とは何か（プリント） B:ディスカッション
第 2 回	論文のルール	A:文献講読： 論文のルール（プリント） B:ディスカッション
第 3 回	参考文献スタイル	A:文献講読： さまざまな参考文献スタイル（プリント） B:ディスカッション
第 4 回	論文を書くための基礎能力	A:文献講読： 論文を書くための基礎能力 （プリント） B:ディスカッション
第 5 回	論文の構成	A:教師によるプレゼンテーション講義 B:質疑応答
第 6 回	論文作成の手順	A:論文作成の手順（教師による講義） B:質疑応答
第 7 回	資料収集の方法	A:資料収集の方法（教師による講義） B:質疑応答
第 8 回	研究論文テーマの設定	A:文献講読： 論文 1 （プリント） B:ディスカッション C:各自研究論文のテーマを設定する
第 9 回	研究論文テーマの設定	A:文献講読： 論文 2 （プリント） B:ディスカッション C:各自研究論文のテーマを設定する
第 10 回	研究論文テーマの設定	A:文献講読： 論文 3 （プリント） B:ディスカッション C:各自研究論文のテーマを設定する
第 11 回	先行研究のプレゼンテーション	A:研究論文のテーマと関連する先行研究の資料を収集し、分析を加えてプレゼンテーションする。 B:質疑応答
第 12 回	先行研究のプレゼンテーション	A:研究論文のテーマと関連する先行研究の資料を収集し、分析を加えてプレゼンテーションする。 B:質疑応答
第 13 回	先行研究のプレゼンテーション	A:研究論文のテーマと関連する先行研究の資料を収集し、分析を加えてプレゼンテーションする。 B:質疑応答
第 14 回	先行研究のプレゼンテーション	A:研究論文のテーマと関連する先行研究の資料を収集し、分析を加えてプレゼンテーションする。 B:質疑応答
第 15 回	先行研究のプレゼンテーション	A:研究論文のテーマと関連する先行研究の資料を収集し、分析を加えてプレゼンテーションする。 B:質疑応答
第 16 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 17 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 18 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 19 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答

		C:教師により指導を行う。
第 20 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 21 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 22 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 23 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 24 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 25 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:教師により指導を行う。
第 26 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 27 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 28 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 29 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。
第 30 回	研究論文指導	A:まとめた研究論文を発表する。 B:質疑応答 C:教師により指導を行う。

授業形式
オンライン、双方向授業。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	30%	70%	100%
評価の特記事項					
「その他」は「研究論文」の評価である。					

テキスト
参考文献、論文などから抜粋し、プリントにして配布する。
参考文献
『学生のレポート・論文作成トレーニング』桑田てるみ他 2020 実教出版株式会社 『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』近藤裕子他 2019 ひつじ書房 過去の「研究論文」他
オフィスアワー
月曜日 18:00～19:00、3 号館 14 階の研究室にいます。事前にアポイントをとり、指示された時間帯に来ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
先行研究を収集し、十分理解した上で論文執筆をしてもらいたい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	21
担当教員	徳永 志織	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	7093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この授業では、以下の能力を身につけることを目指します。 ・スペイン語の 4 技能 ・起承転結のある文章の書き方 ・整った形式の論文の書き方 対応 DP 及び CP : 1, 2, 6, 7,8
授業概要（教育目的）
この授業では、教養研究（一）、（二）で学んだことの集大成として論文を仕上げます。テーマの設定、文章の構成、及び論文の形式について学びます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	テーマについての話し合い	[事前学習]2 時間 これまでに学習したことを振り返り、興味のあるテーマをピックアップしておく。 [事後学習]2 時間 授業内容を基に研究テーマを検討する。
第 2 回	テーマ設定：前回話し合ったことをもとに、テーマを絞る。	[事前学習]2 時間 前回話し合ったことを基に、参考文献等を探しておく。 [事後学習]2 時間 テーマについて再考する。
第 3 回	先行研究の収集方法について：図書館の利用	[事前学習]2 時間 図書館で自分の研究テーマに関係のある参考文献を探してみる。 [事後学習]2 時間 授業内容を基に、再度図書館を利用し、参考文献を収集する。
第 4 回	先行研究の収集方法について：図書館の利用	事前学習]2 時間 図書館で自分の研究テーマに関係のある参考文献を探してみる。 [事後学習]2 時間 授業内容を基に、再度図書館を利用し、参考文献を収集する。
第 5 回	先行研究の収集方法について：インターネットサイトの利用	[事前学習]2 時間 インターネットで自分の研究テーマに関係のあるサイトを探してみる。 [事後学習]2 時間 事前学習で探したサイトが参考文献として使用できるか否かについて検討する。
第 6 回	先行研究の収集方法について：インターネットサイトの利用	[事前学習]2 時間 インターネットで自分の研究テーマに関係のあるサイトを探してみる。 [事後学習]2 時間 事前学習で探したサイトが参考文献として使用できるか否かについて検討する。
第 7 回	ノートテイキングの方法	事前学習]2 時間 論文 1 本を参考に、必要な個所をピックアップし、記録しておく。 [事後学習]2 時間 授業内容を基に、同じ論文について必要な個所を記録する。
第 8 回	ノートテイキングの方法	事前学習]2 時間 論文 1 本を参考に、必要な個所をピックアップし、記録しておく。 [事後学習]2 時間 授業内容を基に、同じ論文について必要な個所を記録する。
第 9 回	個別指導	事前学習]2 時間 これまでに参照した文献についてまとめておく。 [事後学習]2 時間 授業内容を基に、テーマを絞る。
第 10 回	個別指導	事前学習]2 時間 これまでに参照した文献についてまとめておく。 [事後学習]2 時間 授業内容を基に、テーマを絞る。
第 11 回	個別指導	事前学習]2 時間 これまでに参照した文献についてまとめておく。 [事後学習]2 時間 授業内容を基に、テーマを絞る。
第 12 回	途中経過の報告：各自が参照した文献について、自身の研究テーマと関連付け	事前学習]2 時間 これまでに参照した文献についてまとめておく。 [事後学習]2 時間

	ながらレビューを行う。	発表者に対しコメントする。発表者はコメントを参考に研究の方向性を再考する。
第 13 回	途中経過の報告：各自が参照した文献について、自身の研究テーマと関連付けながらレビューを行う。	事前学習]2 時間 これまでに参照した文献についてまとめておく。 [事後学習]2 時間 発表者に対しコメントする。発表者はコメントを参考に研究の方向性を再考する。
第 14 回	途中経過の報告：各自が参照した文献について、自身の研究テーマと関連付けながらレビューを行う。	事前学習]2 時間 これまでに参照した文献についてまとめておく。 [事後学習]2 時間 発表者に対しコメントする。発表者はコメントを参考に研究の方向性を再考する。
第 15 回	プレゼンテーション：前期のまとめとして、これまでに調べた内容について発表する。	事前学習]2 時間 プレゼン資料を作成しておく。 [事後学習]2 時間 発表者に対しコメントする。発表者はコメントを参考に、内容を再考すると同時に発表の仕方（話し方・書き方）についても検討する。
第 16 回	途中経過の報告	事前学習]2 時間 夏休みに進んだ部分について発表できるように準備する。 [事後学習]2 時間 発表者に対しコメントする。
第 17 回	途中経過の報告	事前学習]2 時間 夏休みに進んだ部分について発表できるように準備する。 [事後学習]2 時間 発表者に対しコメントする。
第 18 回	途中経過の報告	事前学習]2 時間 夏休みに進んだ部分について発表できるように準備する。 [事後学習]2 時間 発表者に対しコメントする。
第 19 回	論文の書き方：脚注、参考文献の付け方などを説明する。	[事前学習]2 時間 これまで読んだ論文・本について、参考文献や脚注がどのように示されているかを確認しておく。 [事後学習]2 時間 実際の文章を基に、脚注、参考文献を付けてみる。
第 20 回	論文の書き方：論文の構成、章立てについて説明する。	[事前学習]2 時間 以前自分が書いたレポートを資料として、どのような構成になっているかを確認しておく。 [事後学習]2 時間 事前学習で参考にした自分のレポートを書きなおしてみる。
第 21 回	個別指導：論文執筆に向け、論点を整理し、構成を考える。	[事前学習]2 時間 これまでに読んだ論文をまとめておく。 [事後学習]2 時間 授業を基に、さらに必要な論文や資料を収集する。
第 22 回	個別指導：論文執筆に向け、論点を整理し、構成を考える。	[事前学習]2 時間 これまでに読んだ論文をまとめておく。 [事後学習]2 時間 授業を基に、さらに必要な論文や資料を収集する。
第 23 回	個別指導：論文執筆に向け、論点を整理し、構成を考える。	[事前学習]2 時間 これまでに読んだ論文をまとめておく。 [事後学習]2 時間 授業を基に、さらに必要な論文や資料を収集する。
第 24 回	経過報告：個別指導での	[事後学習]2 時間

	詩的を踏まえ、論文の内容・構成について発表する。	報告内容をまとめておく。 [事後学習]2 時間 授業でのフィードバックを基に内容を修正する。
第 25 回	経過報告：個別指導での詩的を踏まえ、論文の内容・構成について発表する。	[事後学習]2 時間 報告内容をまとめておく。 [事後学習]2 時間 授業でのフィードバックを基に内容を修正する。
第 26 回	経過報告：個別指導での詩的を踏まえ、論文の内容・構成について発表する。	[事後学習] [事後学習]2 時間 報告内容をまとめておく。 [事後学習]2 時間 授業でのフィードバックを基に内容を修正する。
第 27 回	個別指導：形式について	[事前学習]2 時間 執筆中の論文の形式が書き方に従っているかを確認しておく。 [事後学習]2 時間 授業でのフィードバックを基に内容を修正する。
第 28 回	個別指導：形式について	事前学習]2 時間 執筆中の論文の形式が書き方に従っているかを確認しておく。 [事後学習]2 時間 授業でのフィードバックを基に内容を修正する。
第 29 回	個別指導：形式について	[事前学習] 事前学習]2 時間 執筆中の論文の形式が書き方に従っているかを確認しておく。 [事後学習]2 時間 授業でのフィードバックを基に内容を修正する。
第 30 回	論文発表会	[事前学習]2 時間 作成した論文の内容をまとめ、プレゼン資料を作成しておく。 [事後学習]2 時間 お互いの論文の内容についてコメントする。

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」で行う。 ・質問はメールで受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	100%
評価の特記事項					
論文の内容が最も重要である。					

テキスト
特になし。必要な場合には資料を配布する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
Zoom による面接が必要な場合は、メールにて受付け、そのうえで時間を調整する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
大学生生活の集大成として論文を作成することは、良い経験となり、社会に出てからの力となります。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	22
担当教員	中嶋 康裕	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 5	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
生物学のさまざまな課題に触れ、それらを自分で調べて、そして考えて理解する。 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
それぞれが設定した課題に取り組んで、まとめた成果をクラスで発表できるようになる。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	今年度ゼミ運営方針などの説明	今年度の方針の説明 〔事後学習〕 2 時間 今日の講義内容を復習する。
第 2 回	卒論作成計画（日程）の確認	日程の確認 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 3 回	卒論テーマの確認	この時点での各自のテーマを確認する 〔事前学習〕 2 時間 卒論のテーマについて提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 4 回	卒論テーマの確認	前回参加できなかった学生について、この時点での各自のテーマを確認する 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 5 回	卒論準備（個別対応）	前期中は就活のため全員が揃わないので、個別に対応する（オンライン対応が望ましい） 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 6 回	卒論準備（個別対応）	前期中は就活のため全員が揃わないので、個別に対応する（オンライン対応が望ましい） 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 7 回	卒論準備（個別対応）	前期中は就活のため全員が揃わないので、個別に対応する（オンライン対応が望ましい） 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 8 回	卒論準備（個別対応）	前期中は就活のため全員が揃わないので、個別に対応する（オンライン対応が望ましい） 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 9 回	卒論準備（個別対応）	前期中は就活のため全員が揃わないので、個別に対応する（オンライン対応が望ましい） 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 10 回	卒論準備（個別対応）	前期中は就活のため全員が揃わないので、個別に対応する（オンライン対応

		が望ましい) 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 11 回	卒論準備 (個別対応)	前期中は就活のため全員が揃わないので、個別に対応する (オンライン対応が望ましい) 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 12 回	卒論準備 (個別対応)	前期中は就活のため全員が揃わないので、個別に対応する (オンライン対応が望ましい) 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 13 回	卒論準備 (個別対応)	前期中は就活のため全員が揃わないので、個別に対応する (オンライン対応が望ましい) 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 14 回	卒論準備 (テーマの決定)	卒論の (仮) テーマを決めて発表する 〔事前学習〕 2 時間 卒論のテーマについて提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介したテーマを復習する。
第 15 回	卒論準備状況の確認	夏休みにやるべきことを確認する 〔事前学習〕 2 時間 夏休みの卒論計画について提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 16 回	卒論進行の確認	卒論作成計画の確認 〔事前学習〕 2 時間 卒論計画について確認する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 17 回	あらすじ紹介 (1)	3 名程度が卒論のあらすじを口頭で紹介して、ゼミ生の意見を聞く 〔事前学習〕 2 時間 卒論のあらすじについて準備する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 18 回	あらすじ紹介 (2)	残りのゼミ生が卒論のあらすじを口頭で紹介して、ゼミ生の意見を聞く 〔事前学習〕 2 時間 卒論のあらすじについて準備・提案する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 19 回	卒論用 ppt 作成 (1)	ppt に沿ってあらすじを紹介 〔事前学習〕 2 時間 卒論のあらすじを紹介 ppt ファイルを準備する 〔事後学習〕 2 時間

		他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 20 回	卒論用 ppt 作成 (2)	先週やらなかったゼミ生が ppt に沿ってあらすじを紹介 [事前学習] 2 時間 卒論のあらすじを紹介 ppt ファイルを準備する [事後学習] 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 21 回	流れと主張の妥当性の検討 (1)	口頭発表がわかりやすいものになっているか検討する ppt に沿ってあらすじを紹介 [事前学習] 2 時間 卒論のあらすじを紹介 ppt ファイルに沿って紹介する [事後学習] 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 22 回	就活報告会	ゼミ 3 年生のために就活を報告 [事前学習] 2 時間 就活内容を後輩に紹介するために準備する [事後学習] 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 23 回	流れと主張の妥当性の検討 (2)	先週残ったゼミ生に関して、口頭発表がわかりやすいものになっているか検討する ppt に沿ってあらすじを紹介 [事前学習] 2 時間 卒論のあらすじを紹介 ppt ファイルに沿って紹介する [事後学習] 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 24 回	イントロと結びを検討	細部の確認 口頭発表がわかりやすいものになっているか検討する [事前学習] 2 時間 卒論のあらすじを紹介 ppt ファイルに沿って紹介する準備 [事後学習] 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 25 回	卒論発表練習	口頭で卒論を発表する練習 (時間設定なし) ppt に沿って卒論を紹介 [事前学習] 2 時間 卒論の内容を ppt ファイルに沿って紹介する [事後学習] 2 時間 口頭発表がわかりやすいものになっていたか検討する
第 26 回	卒論発表最終練習	口頭で卒論を発表する練習 (時間厳守) [事前学習] 2 時間 卒論の内容を ppt ファイルに沿って紹介する [事後学習] 2 時間 発表時間が守られていたか検討する
第 27 回	卒論発表会	ppt ファイルを用いて、卒論を口頭 (15 分) で発表する (採点あり) [事前学習] 2 時間 卒論の発表準備 [事後学習] 2 時間 口頭発表が予定通りできたか検討する
第 28 回	卒論作成	卒論執筆 [事前学習] 2 時間 発表した内容に沿って卒論執筆 [事前学習] 2 時間 卒論の執筆 [事後学習] 2 時間

		細部にミスがないか検討する
第 29 回	卒論作成	発表した内容に沿って卒論執筆 〔事前学習〕 2 時間 卒論の執筆 〔事後学習〕 2 時間 細部にミスがないか検討する
第 30 回	卒論作成・提出	卒論提出 〔事前学習〕 2 時間 細部にミスがないか再度確認する

授業形式
オンラインで実施する。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
ゼミへの出席を 20%、卒論を 80%で評価する。					

テキスト
なし
参考文献
なし
オフィスアワー
今年度はリモート授業のためなし。随時メールなどで相談する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
コロナ禍でこのゼミ本来の授業を実施できないのが残念です。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	23
担当教員	中村 光宏	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	7062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
研究対象とする言語現象について、先行研究を調査し、疑問に思うことを順序立てて考え、自分自身のアイディアに基づく分析を遂行できることを目指します。 対応 DP 及び CP1, 2, 6, 7, 8。
授業概要（教育目的）
言語学・ことばの科学的分析の分野で研究論文を執筆する学生を対象として指導・助言を行います。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	研究計画の立案と興味ある言語現象(=研究テーマ)の確認	① Zoom を利用して実施します。 ② 【事前学習】2 時間: Google Drive にある「研究論文の概要について」を作成し、現時点での計画を説明できるように準備してください。このファイルは、昨年度中に配付したものと同じです。 【事後学習】2 時間: 計画の修正を行い、現時点での確定版とする。
第 2 回	研究論文のテーマ選択(1)	① Zoom を利用して実施します。 ② 【事前学習】2 時間: 研究対象の言語現象(具体例)に関する疑問点や興味深い点を挙げておく。 【事後学習】2 時間: 疑問点と問題点をまとめる。
第 3 回	研究論文のテーマ選択(2)	【事前学習】2 時間: 研究目的を説明できるように準備する。 【事後学習】2 時間: 疑問点・問題点と研究目的の関係を検討する。
第 4 回	研究論文のテーマ選択(3)	【事前学習】2 時間: 対象の言語現象(具体例)を提示し、疑問点を説明できるように準備する。 【事後学習】2 時間: 具体例と疑問点を復習し、まとめておく。
第 5 回	問題設定と研究課題(1)	【事前学習】2 時間: 疑問点(明らかにしたいこと)の調査・分析方法を考えてくる。 【事後学習】2 時間: 調査分析方法について、ポイントをまとめる。
第 6 回	先行研究の批判的検討(文献復習①)	【事前学習】2 時間: 文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間: クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 7 回	先行研究の批判的検討(文献復習②)	【事前学習】2 時間: 文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間: クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 8 回	先行研究の批判的検討(文献復習③)	【事前学習】2 時間: 文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間: クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 9 回	先行研究の批判的検討(文献復習④)	【事前学習】2 時間: 文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間: クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 10 回	問題設定と研究課題(2)	【事前学習】2 時間: 先行研究における論点を整理する。 【事後学習】2 時間: 先行研究と自身の研究、それぞれの特徴を考える。
第 11 回	先行研究の批判的検討(文献復習⑤)	【事前学習】2 時間: 文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間: クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 12 回	先行研究の批判的検討(文献復習⑥)	【事前学習】2 時間: 文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間: クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 13 回	先行研究の批判的検討(文献復習⑦)	【事前学習】2 時間: 文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間: クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 14 回	問題設定と研究課題(3)	【事前学習】2 時間: 先行研究における調査方法を整理する。 【事後学習】2 時間: 先行研究と自身の研究、それぞれの特徴を考える。
第 15 回	研究計画の再確認と執筆計画の検討	【事前学習】2 時間: 研究計画を見直し、夏休み期間中の作業予定を考えてくる。 【事後学習】2 時間: 夏休み期間中の作業予定を修正し、計画的に進める。
第 16 回	夏休み期間中の進捗状況の確認と後期の執筆計画の確認(1)	【事前学習】2 時間: 夏休み中のレポートと後期の執筆計画の作成し提出する。 【事後学習】2 時間: レポート内容を復習する。

第 17 回	夏休み期間中の進捗状況の確認と後期の執筆計画の確認(2)	【事前学習】2 時間：提出したレポート内容についてのディスカッションの準備。 【事後学習】2 時間：ディスカッションに基づき、レポート内容を改定する。
第 18 回	研究対象とした言語現象の様々な特徴の検討(1)	【事前学習】2 時間：報告内容の確認と質問事項の整理を行う。 【事後学習】2 時間：特に、第 2 章のデータ（作成したグラフと表）とその説明、議論について検討する。
第 19 回	研究対象とした言語現象の様々な特徴の検討(2)	【事前学習】2 時間：報告内容の確認と質問事項の整理を行う。 【事後学習】2 時間：特に、第 3 章のデータ（作成したグラフと表）とその説明について検討する。
第 20 回	研究対象とした言語現象の様々な特徴の検討(3)	【事前学習】2 時間：報告内容の確認と質問事項の整理を行う。 【事後学習】2 時間：特に、第 3 章で取り上げる問題点・疑問点とその議論について検討する。
第 21 回	研究対象とした言語現象の様々な特徴の検討(4)	【事前学習】2 時間：報告内容の確認と質問事項の整理を行う。 【事後学習】2 時間：特に、第 4 章のデータ（作成したグラフと表）とその説明について検討する。
第 22 回	研究対象とした言語現象の様々な特徴の検討(5)	【事前学習】2 時間：報告内容の確認と質問事項の整理を行う。 【事後学習】2 時間：特に、第 4 章で取り上げる問題点・疑問点とその議論について検討する。
第 23 回	研究対象とした言語現象の様々な特徴の検討(6)	【事前学習】2 時間：報告内容の確認と質問事項の整理を行う。 【事後学習】2 時間：特に、第 5 章（結論の章）の内容（各章の要約、論文全体の結論）について検討する。
第 24 回	研究対象とした言語現象の様々な特徴の検討(7)	【事前学習】2 時間：報告内容の確認と質問事項の整理を行う。 【事後学習】2 時間：特に、第 1 章（導入の章）の内容（論文全体のテーマ、目的、問題点・疑問点、各章の構成）について検討する。
第 25 回	研究対象とした言語現象の様々な特徴の検討(8)	【事前学習】2 時間：報告内容の確認と質問事項の整理を行う。 【事後学習】2 時間：論文全体のスタイル（表紙、目次、ページ、図表の通し番号、参考文献、付録につけるデーター一覧）について確認する。
第 26 回	研究論文の校正とスタイルの点検(1)	【事前学習】2 時間：草稿の提出を準備する。 【事後学習】2 時間：提出した草稿を推敲する。
第 27 回	研究論文の校正とスタイルの点検(2)	【事前学習】2 時間：提出した草稿の内容についての説明とディスカッションの準備を行う。 【事後学習】2 時間：特に、論文全体のテーマと各章の目的がどのように関連しているかを改めて検討する。
第 28 回	研究論文の校正とスタイルの点検(3)	【事前学習】2 時間：提出した草稿の内容についての説明とディスカッションの準備を行う。 【事後学習】2 時間：特に、論文全体の結論と各章で得られた結論とが、どのように関連するかを改めて検討する。
第 29 回	研究論文の校正とスタイルの点検(4)	【事前学習】2 時間：最終稿の内容を確認し、論文スタイルを再度点検する。 【事後学習】2 時間：提出準備を行う。
第 30 回	総括	【事前学習】2 時間：リサーチ活動(計画・実行・報告・執筆)を振り返り、気づいたことをまとめる。 【事後学習】2 時間：リサーチ活動に必要と思われる事柄を明らかにする。

授業形式
■ 授業形態：オンデマンド型 ■ 履修者自身に短期目標・長期目標を立ててもらい、リサーチ活動(計画・実行・報告・執筆)全般を指導します。 ■ 11 月末日までに、研究論文の草稿を完成させ、その後、加筆・修正を 12 月中に完了してもらいます。 ■ Zoom 等を使用し課題の提出を中心として進めます。教材（授業資料）の活用、課題提出などを通して、内容理解を深めていくと共に論文執筆の進捗状況を確認します。 ■ 質問等については、授業中だけではなく、電子メールにていつでも受け付けます（メールアドレスは最初の授業時にお

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0	1
評価の特記事項					
レポート＝研究論文の計画的な執筆と完成版の達成度；授業への参画度＝課題、報告などの提出状況と準備状況					

テキスト
ありません。
参考文献
授業中に紹介します。
オフィスアワー
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
言語現象を言語学的観点と社会経済的観点の両面から調査分析し、皆さんの疑問を順序立てて考え、自らのアイディアを発見し、研究論文で表現することができるよう、最後まで強い気持ちをもって、取り組んでいきましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	24
担当教員	根村 直美	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	3073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 倫理学とは、「相互尊重」を追究する学問であることを理解し、その視座から倫理的な問題を捉えることができる。 2. 倫理学のその視座が「生物学的決定論」から離床することにより成り立つことを理解することができる。 3. 倫理学に関わる具体的問題について、どのように判断しどう行動していけば「相互尊重」の関係性を実現していくことができるのかを考察することができる。 4. 倫理学的知見を吸収しつつ自らの判断を形成すること、および、その判断を理性を用いて論証する 対応 DP 及び CP1, 2, 6, 7, 8。
授業概要（教育目的）
本ゼミナールでは、現代の倫理的な諸問題についてどのように考えどう行動していけば、「相互尊重」の関係性を実現していくことができるのかを考察していく。その考察においては、ある人たちが「抑圧」されてきた様子、あるいは、「抑圧」されている様子を探っていくとともに、そうした「抑圧」がない社会をつくっていく道筋を模索していくことになる。そして、相互に尊重しあえる関係とは、それぞれが自己肯定感を持てるような関係に他ならないことを確認していく。すなわち、これまで社会的に不利な立場に置かれてきた人たちが「抑圧」に苦しむことなく生きることができるように社会を変えていこうとすることは、実は、自身が「心地よく」生きることができる社会を構築しようとするに他ならないことを確認していく。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	はじめに	本授業が、どのような問題を扱い、何をねらいとするのか把握する。また、どのように授業を進められるのかについて把握する。 【事前学習】2 時間 教養研究 (二) までの研究成果を振り返り、前期に取り組むべき課題について考えておく。 【事後学習】2 時間 ガイダンスをふりかえりつつ、前期に取り組む研究課題を決定する。
第 2 回	研究論文の執筆方法について・その 1	研究論文の執筆の仕方、特に本論の組み立て方を把握する。 【事前学習】2 時間 執筆に向けて研究論文の課題について決定する。 【事後学習】2 時間 研究論文の執筆の仕方、特に、本論の組み立て方について整理する。
第 3 回	研究論文の執筆方法について・その 2	研究論文の執筆の仕方、特に、引用、あるいは、参考にした文献および資料一覧の作成の仕方を把握する。 【事前学習】2 時間 研究論文の執筆の仕方、特に、本論の組み立て方について確認する。 【事後学習】2 時間 研究論文の執筆の仕方、特に、引用、あるいは、参考にした文献および資料一覧の作成の仕方を整理する。
第 4 回	研究論文の執筆方法について・その 3	研究論文の序論・結論の作成の仕方について把握する。 【事前学習】2 時間 研究論文の執筆の仕方、特に、引用、あるいは、参考にした文献および資料一覧の作成の仕方を確認する。 【事後学習】2 時間 研究論文の序論・結論の作成の仕方について整理する。
第 5 回	先行研究の確認および収集について・その 1	研究論文の執筆に必要な先行研究を確認し、収集する。 【事前学習】2 時間 研究論文の序論・結論の作成の仕方について確認する。 【事後学習】2 時間 研究論文に必要な先行研究を収集する。
第 6 回	先行研究の確認および収集について・その 2	研究論文の執筆に必要な先行研究の確認と収集をさらにすすめる。 【事前学習】2 時間 研究論文の執筆に必要な先行研究の収集状況について整理する。 【事後学習】2 時間 研究論文に必要な先行研究を収集をさらにすすめる。
第 7 回	研究論文の構成の検討・その 1	研究論文の構成を検討し、目次案を作成する。 【事前学習】2 時間 研究論文に必要な先行研究を収集の状況を確認する。 【事後学習】2 時間 研究論文の構成の原案を整理する。
第 8 回	研究論文の構成の検討・その 2	研究論文の構成の検討と目次の作成をさらにすすめる。 【事前学習】2 時間 研究論文の構成の原案を確認する。 【事後学習】2 時間 研究論文の構成の原案をまとめ、目次案を決定する。
第 9 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間

		教養研究(二)までの研究成果をふまえ、各自の課題にしたがって研究論文の執筆に着手する。 【事後学習】2時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第10回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第11回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第12回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第13回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第14回	ここまでの報告の振り返りと補足	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきか検討する。
第15回	ここまでの報告の振り返りと補足	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべ

		きかさらに検討する。
第 16 回	前期授業内容と後期授業の進め方の確認	後期の授業が、何をねらいとするのか把握する。また、どのように授業を進められるのかを把握する。 【事前学習】2 時間 前期の研究内容について振り返り、後期に取り組むべき課題について考えておく。 【事後学習】2 時間 前期の振り返りを踏まえつつ、研究論文の完成のためには、後期どのように研究を進めるべきかを確認する。
第 17 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 18 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 19 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 各自の課題にしたがって、これまでの研究を受けつつ研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、自身の報告に際して参考にすべき点を整理する。
第 20 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 21 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 22 回	ここまでの報告の振り返りと補足	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるよう

		に準備する。 【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、研究論文の完成のためには、今後どのように研究をすすめるべきか検討する。
第 23 回	ここまでの報告の振り返りと補足	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、研究論文の完成のためには、今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。
第 24 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 25 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 26 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 27 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 28 回	研究報告と討論	研究論文の完成に向け各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。

第 29 回	ここまでの報告の振り返りと 補足	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、研究論文の完成に向けて研究をすすめる。
第 30 回	ここまでの報告の振り返りと 補足	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、研究論文を完成する。

授業形式	
1. 授業形態は「②オンデマンド型」とする。 2. レポートの提出とそのレポート内容へのフィードバックを適宜行う。 3. 質問等はメールでも受け付ける。 4. 各回の具体的な内容に関しては、初回授業時に詳細な説明を行う。また、進行状況によって変更・調整を行うものとする。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	30%	10%	1
評価の特記事項					
研究論文については、本ゼミナール所属の要件（学習目標およびねらい）を満たすことが必要。「その他」はゼミ内での指摘を踏まえた研究論文の修正による加点および減点。					

テキスト
初回の授業において提示する。
参考文献
適宜，授業において提示する。
オフィスアワー
原則として，火曜日 12:20-12:50。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
1．独りよがりの自説を述べる場ではなく、倫理学的知見に基づいて自説を述べる場であることを理解して履修してください。 2．倫理学的知見を吸収することを通じ自分自身の考えを見つめ直そうとする姿勢をもって授業に臨んでください。また、異なる考えに向き合おうとする姿勢をもって授業に臨んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	25
担当教員	バターフィールド ジェフリー	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限		単位区分	選
講義室		単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. Students will be able to read, comprehend, and summarize academic papers and books related to the topics covered in class. 2. Students will be able to build on the knowledge that they acquired through their research and in the first two years of this 対応 DP 及び CP1, 2, 6, 7, 8。
授業概要（教育目的）
In this seminar students will write a thesis about a topic related to the content covered in the first two years of this seminar. Students will be required to choose a topic related to the interrelationships between language, culture, and society. Students will research their topic and periodically report their findings in class. Feedback and advice about the content and structure of the thesis will be provided on a regular basis.

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	Course introduction	Discuss the course content, grading, and schedule. 事前学習 : 2 hours -Think about thesis topics. 事後学習 : 2 hours -Review the syllabus and content covered in class.
第 2 回	Thesis topic	Discuss and decide thesis topic. 事前学習 : 2 hours -Make a list of possible thesis topics. 事後学習 : 2 hours -Start looking for books and articles related to your topic.
第 3 回	Components of a thesis	Discuss the components of a thesis. 事前学習 : 2 hours -Search what the components of a thesis are and make a list. 事後学習 : 2 hours -Make an outline of the structure of your thesis.
第 4 回	Components of a thesis	Discuss the components of a thesis. 事前学習 : 2 hours -Review the outline of your thesis. 事後学習 : 2 hours -Make revisions to your outline based on the suggestions you received.
第 5 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 6 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 7 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 8 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions

		where necessary.
第 9 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 10 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 11 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 12 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 13 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 14 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 15 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary. -Create a work timeline for next semester.
第 16 回	Present and discuss	事前学習 : 2 hours

	research findings	-Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 17 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 18 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 19 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 20 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 21 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 22 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 23 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation.

		事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 24 回	Present and discuss research findings	事前学習 : 2 hours -Search for, read, and summarize articles and books related to your topic. -Prepare presentation. 事後学習 : 2 hours -Reflect on your presentation content and make revisions where necessary.
第 25 回	Discuss thesis revisions	事前学習 : 2 hours -Submit thesis. 事後学習 : 2 hours -Make suggested revisions
第 26 回	Discuss thesis revisions	事前学習 : 2 hours -Submit thesis. 事後学習 : 2 hours -Make suggested revisions
第 27 回	Discuss thesis revisions	事前学習 : 2 hours -Submit thesis. 事後学習 : 2 hours -Make suggested revisions
第 28 回	Discuss thesis revisions	事前学習 : 2 hours -Submit thesis. 事後学習 : 2 hours -Make suggested revisions
第 29 回	Discuss thesis revisions	事前学習 : 2 hours -Submit thesis. 事後学習 : 2 hours -Make suggested revisions.
第 30 回	Review thesis	事前学習 : 2 hours -Submit thesis 事後学習 : 2 hours -Make suggested revisions and finalize thesis.

授業形式
・授業形態は同時双方向型とする。 ・質問等は EcoLink、Gmail からまたは授業中に受け付ける。 ・Thesis や Presentation に関してのフィードバックは原則として授業中に行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%		100%
評価の特記事項					
-Student will be graded based on their reports (thesis sections) and class participation.					

テキスト
特になし
参考文献
特になし
オフィスアワー
メールでアポをとること。なお、メールアドレスは授業時に表示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
A high level of autonomy and organization will be necessary.
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	26
担当教員	平木 貴子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本授業では、以下の能力を身につけることを目標とします。 1. スポーツ心理学の専門用語や理論の意味を理解し、説明できる 2. 自身の体験や観察をもとに様々な疑問・問題・課題をスポーツ心理学的視点からとらえることで、スポーツ・運動・身体活動場面における現象を理解できる 3. 自身の体験や観察をもとに課題を設定し、課題への理解を深めるための方法論を知り、活用できる 4. スポーツ・運動・身体活動場面における現象から研究課題を設定し、課題解決に向けて行動できる 5. 自身の研究について論理的に説明でき 対応 DP 及び CP1, 2, 6, 7, 8。
授業概要（教育目的）
「スポーツ」「身体活動」を手がかりにこころの動き、こころと身体の関係について考えていきます。自身の体験から関心のあ るテーマをみつけ、文献抄読、調査や実験、事例検討をしていきます。ゼミナールでの活動を通して、自ら課題を見出 し、主体的に課題に取り組んでいく姿勢を学んでほしいと思っています。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容・進め方・評価方法・受講のルール等を説明する 【事前学習】2 時間 Google Classroom への登録および連絡事項・資料を熟読の上、授業に参加すること 【事後学習】2 時間 取り組む研究課題の準備をすること
第 2 回	研究テーマの確認	研究テーマ・課題の確認 【事前学習】2 時間 個人研究の進捗状況を説明できるようにすること 【事後学習】2 時間 研究を実施する上での課題を洗い出すこと
第 3 回	先行研究レビューおよびリサーチクエッション（以下 RQ）の発表①	先行研究レビューおよびリサーチクエッション（以下 RQ）の報告① 報告に対するフィードバック（以下 FB）① 【事前学習】2 時間 先行研究をまとめ、リサーチクエッションを設定すること 発表資料にまとめ、提出すること 【事後学習】2 時間 FB をもとに研究を遂行する上での課題を検討し、研究計画を明確化すること
第 4 回	先行研究レビューと RQ の精査①	先行研究の追加および RQ の精査 【事前学習】2 時間 FB に沿って、関連研究に関する文献を追加すること 【事後学習】2 時間 新たに収集した文献を読み、要点をまとめておくこと
第 5 回	先行研究レビューと RQ の精査②	先行研究のレビューと RQ の改善 【事前学習】2 時間 追加された先行研究の内容を精査すること 【事後学習】2 時間 必要な文献を追加作業を継続し、先行研究レビューを修正すること
第 6 回	先行研究のレビューと RQ の発表②	先行研究レビューおよび RQ の報告② 報告に対する FB② 【事前学習】2 時間 追加された先行研究も踏まえレビュー・RQ を修正すること 発表資料にまとめ、提出すること 【事後学習】2 時間 FB をもとに先行研究の追加および研究を遂行する上での課題を検討すること
第 7 回	研究目的の検討	研究目的の設定を行う 【事前学習】2 時間 発表時のコメントをもとに必要な情報収集・再検討を行い、RQ に基づく研究目的を設定しておくこと 【事後学習】2 時間 議論を踏まえ、研究目的を修正すること
第 8 回	研究目的の発表①	研究目的の報告 報告に対する FB③ 【事前学習】2 時間 追加された情報や議論も踏まえレビューを修正し、研究目的を具体的にすること 発表資料にまとめ、提出すること

		【事後学習】2 時間 FB をもとに先行研究の追加すること 研究を遂行する上での課題を検討すること
第 9 回	先行研究のレビュー・RQ・研究目的の改善①	先行研究のレビュー・RQ・研究目的を修正する 【事前学習】2 時間 発表時のコメントをもとに必要な情報収集・再検討を行い，先行研究のレビューの充実，RQ に基づく研究目的を明確化しておくこと 【事後学習】2 時間 議論を踏まえ，研究目的を再修正すること
第 10 回	研究目的の発表②	研究目的の報告 報告に対する FB④ 【事前学習】2 時間 議論を踏まえて修正した研究目的（および先行研究のレビューおよび RQ）を発表資料にまとめ，提出すること 【事後学習】2 時間 FB をもとに先行研究の追加および研究を遂行する上での課題を検討すること
第 11 回	先行研究のレビュー・RQ・研究目的の改善②	先行研究のレビュー・RQ・研究目的を修正する 【事前学習】2 時間 発表時のコメントをもとに必要な情報収集・再検討を行い，先行研究のレビューの充実，RQ に基づく研究目的を明確化しておくこと 【事後学習】2 時間 議論を踏まえ，研究目的を再修正すること
第 12 回	研究方法の検討①	研究方法を検討する 【事前学習】2 時間 研究方法について自分の考えをまとめ，説明できるようにすること 【事後学習】2 時間 議論を踏まえ，研究方法を具体的にすること
第 13 回	研究方法の発表	研究方法を報告する 報告に対する FB⑤ 【事前学習】2 時間 研究方法を発表資料にまとめ，提出すること 【事後学習】2 時間 FB をもとに研究を遂行する上での課題を検討すること
第 14 回	研究方法の検討②	発表時のコメントをもとに研究方法を修正する 【事前学習】2 時間 研究方法の問題点を修正し，説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 議論を踏まえ，研究方法を再設定すること 研究論文（序論）作成に必要な情報を整理しておくこと
第 15 回	研究論文の検討・前期の振り返り	前期の成果（序論・研究方法）を報告し，より良い研究論文作成に向けた意見交換を行う 前期のまとめを行う。 【事前学習】2 時間 所定の時間内に他者と情報共有できるように序論・研究方法のアウトラインを作成しておくこと 【事後学習】2 時間 意見交換を踏まえて，研究論文（序論・研究方法）を作成し，提出する 所定の期日までに他者の報告についてコメントする
第 16 回	後期授業に関するガイダンス	後期の流れ・課題について説明する 【事前学習】2 時間 前期の研究論文（序論・研究方法）報告時に指摘された点を確認・整理

		しておく 【事後学習】2 時間 授業内で話し合った課題について修正し，研究方法を精査する
第 17 回	研究方法の検討③	研究方法を修正する 【事前学習】2 時間 コメントをもとに研究方法の問題点を検討し，研究方法を修正すること 【事後学習】2 時間 議論を踏まえ，研究方法を再設定すること 再設定に応じて，論文の文章を修正すること
第 18 回	データ収集の準備	データ収集に必要な資料や用具・機材の最終確認を行う 予備調査・予備実験を行う 【事前学習】2 時間 実験・調査に必要な用具・機材・資料を作成・準備すること 研究協力者への連絡や説明に必要な資料を作成しておくこと 【事後学習】2 時間 議論をもとにデータ収集準備を完了させること
第 19 回	データ収集①	データの収集を行う 【事前学習】2 時間 研究協力者への連絡や説明を徹底すること 【事後学習】2 時間 データ入力フォーマットを作成しておくこと 得たデータは随時入力すること
第 20 回	データ収集②・データ集計	データの収集を行う 収集したデータを集計する 【事前学習】2 時間 収集したデータを入力しておくこと 【事後学習】2 時間 基礎データの集計結果をまとめておくこと
第 21 回	データ分析	データの分析を行う 【事前学習】2 時間 データ分析方法を調べ，分からない点を整理しておくこと 【事後学習】2 時間 データの分析を完了させておくこと
第 22 回	研究結果・考察の検討①	分析結果の理解に関して意見交換を行う 【事前学習】2 時間 分析結果を説明できるようにすること 【事後学習】2 時間 議論をもとに分析結果からどのような結果が得られたのかを文章化すること
第 23 回	研究結果・考察の検討②	結果の考察に関して意見交換を行う 【事前学習】2 時間 分析の結果からどのようなことを考えられるのかを整理しておくこと 【事後学習】2 時間 データの分析結果を表やグラフで示し，提出すること
第 24 回	研究成果の発表	研究の成果を報告する 報告に対する FB を行う⑥ 【事前学習】2 時間 研究成果を発表資料にまとめ，提出すること 【事後学習】2 時間 コメントを踏まえ，結果・考察を文章化し，提出すること
第 25 回	研究論文の精査①	研究論文に関して意見交換を行う 【事前学習】2 時間 研究論文全体の執筆を済ませておくこと

		【事後学習】2 時間 コメントを踏まえ、文章を修正すること
第 26 回	研究論文の精査②	研究論文を修正する① 【事前学習】2 時間 数名に論文を読んでもらい、コメントをもらうこと コメントに応じて、文章を再修正すること 【事後学習】2 時間 執筆要領に即した文章表記であるかを確認し、修正すること
第 27 回	研究論文の精査③	研究論文を修正する② 【事前学習】2 時間 数名に論文を読んでもらい、コメントをもらうこと コメントに応じて、文章を再々修正すること 【事後学習】2 時間 論文の最終確認を行うこと
第 28 回	研究論文の完成	研究論文を完成させる 【事前学習】2 時間 提出要件、執筆要件を満たしているか、細かな確認を行うこと 【事後学習】2 時間 研究論文を完成させること
第 29 回	研究成果報告会の準備	研究成果報告会に向けた準備を行う 【事前学習】2 時間 研究成果を発表スライドにまとめ、提出すること 【事後学習】2 時間 コメントに応じて、発表資料を修正すること
第 30 回	後期の振り返り	授業全体のまとめを行う 【事前学習】2 時間 本講義を通して学んだことをまとめておく 【事後学習】2 時間 授業での学びについて自己評価を行う

授業形式	
・授業形態は、①オンデマンド型、②部分対面もしくは Zoom でのリアルタイム型 の①②ハイブリット型授業を行う。大部分は②で実施する。 ・Google Classroom を主に利用するため、必ず登録すること ・質問等は授業内で受け付ける（Gmail から受付け可能） ・学生参加型授業を実施する	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	20%	10%	100%
評価の特記事項					
・初回授業時に詳細は示します ・配布資料がある場合は必ず自分でダウンロード・アクセスしてください ・課題提出は徹底してください ・学生参加型授業であるため積極的に議論・意見・行動すること					

テキスト
特になし ※ 必要に応じて資料を Google Classroom にアップロードするので、各自連絡事項を確認の上、ダウンロードしてください
参考文献
必要に応じて紹介します
オフィスアワー
質問は原則、メール（平木：ecta80135@g.nihon-u.ac.jp）で対応します（必要に応じて、Google Meet や Zoom などのツールを使用することもあります） ※ 担当教員にメールを送る時は、件名に「研究論文（受講曜日・時限）、学生番号、氏名」を明記すること
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
※ 注意事項や指示がある場合は Google Classroom で連絡します。 必ず確認するようにしてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	28
担当教員	村岡 哲郎	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 日常的に使用する認知心理学用語の意味を理解し、説明できる。 2. 私たちの身近にあるさまざまな問題を認知心理学的な視点から捉えることで、新聞や ニュースなどの緒問題を正しく理解できる。 3. 認知心理学的な考え方を理解し、認知心理学とはどのような学問なのかを説明できる。 対応 DP 及び CP:1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では、認知心理学の基礎的な学修として、私たちの身近な問題に関連した実験をおこない、認知心理学的な視点から実験結果を分析し、論文としてまとめてもらいます。これによって、認知心理学とはどのような学問なのかを理解してもらい、認知心理学の基礎的知識を身につけてもらいます。

[illegible][illegible]

		【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 12 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 13 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 14 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 15 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 16 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 17 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 18 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 19 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 20 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 21 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 22 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 23 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 24 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 25 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 26 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 27 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。

		【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 28 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 29 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 30 回	研究成果の報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。

授業形式	
・授業形態は「部分対面型」とする。 ・質問等のフィードバックは，講義内で行う。 ・質問等は Gmail からも受け付ける。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
月曜日 12:10~12:55。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻，私語など他の学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。十分な予習・復習に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	29
担当教員	安田 静	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	7064	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、フランスの文化・芸術・社会に関するひと、もの、ことを研究対象として、自ら「問題をたてる」ことができるようになる、というのが最も重要な到達目標となります。 すなわち、教員から与えられた課題について考察する、という受動的な姿勢ではなく、最も興味・関心を持つ対象について、「何が問題なのか」「何を問題とすべきなのか」を見つけて、それらについて深く考察し、その結論を論理的に筋道の通った研究論文の形でまとめることが最終目標です。 対応 DP 及び CP: 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールでは、フランスの文化・芸術に触れ、同時にフランスにおける様々な問題についても理解を深めてゆくことが大切な目的の一つです。そのために、座学のみには留まらず、劇場、美術館などに実際に出かけて、フィールドワークを通してより立体的な知見を獲得していただきます。 しかしながら、ゼミナール初年度の教養研究（一）ではまず何よりも先に、アカデミック・ライティングに必要な基本的スキルをしっかりと身につけていただくことが大切です。一年生の「自主創造の基礎」ゼミで扱ったレポートの作成方法や引用の仕方などはもちろん、学術的な論文の探し方をはじめ、数限りなく存在する書物や論文の中から信頼に足る価値あるものを選び、それを正しく引用して、より良い論文を執筆するためのスキルを身につけてゆきましょう。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	研究課題の設定・確認と研究計画	教養研究(一)及び教養研究(二)で積み上げてきた研究内容の総まとめとなります。研究課題をもう一度検討し、1 年間の研究計画を建てましょう。とくに 4 年生の前半から夏休みにかけての期間は、就職活動にかなりの時間が必要となることを考慮に入れてください。 【事前学習】2 時間 春休み中に課題をしっかり進めておいてください。 【事後学習】2 時間 授業時のアドバイスを参考にして、より良い研究計画となるよう再検討しましょう。
第 2 回	これまでのレポートの総合的講評と研究論文としての統合作業	これまでの 2 年間で積み上げてきたレポートを研究論文としてとりまとめてゆきます。特に、どのような順序で論文を組み立てれば最も論理的で整合性を持った流れにできるか、よく検討しましょう。 【事前学習】2 時間 これまでのレポートをもとに、論理的展開をよく考えて順番を整え、リライトしておきましょう。 【事後学習】2 時間 詳細説明に基づいて、よりアカデミックな表現になるよう、再校しましょう。
第 3 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	研究論文については主に個人指導となりますが、進行状況を見ながら随時、授業内で発表を行っていただきます。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、新たな資料の検索・検討とリライト作業を続けましょう。
第 4 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	研究論文については主に個人指導となりますが、進行状況を見ながら随時、授業内で発表を行っていただきます。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、新たな資料の検索・検討とリライト作業を続けましょう。
第 5 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	研究論文については主に個人指導となりますが、進行状況を見ながら随時、授業内で発表を行っていただきます。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、新たな資料の検索・検討とリライト作業を続けましょう。
第 6 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	研究論文については主に個人指導となりますが、進行状況を見ながら随時、授業内で発表を行っていただきます。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、新たな資料の検索・検討とリライト作業を続けましょう。
第 7 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	研究論文については主に個人指導となりますが、進行状況を見ながら随時、授業内で発表を行っていただきます。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。

		【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、新たな資料の検索・検討とリライト作業を続けましょう。
第 8 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	研究論文については主に個人指導となりますが、進行状況を見ながら随時、授業内で発表を行っていただきます。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、新たな資料の検索・検討とリライト作業を続けましょう。
第 9 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	研究論文については主に個人指導となりますが、進行状況を見ながら随時、授業内で発表を行っていただきます。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、新たな資料の検索・検討とリライト作業を続けましょう。
第 10 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	研究論文については主に個人指導となりますが、進行状況を見ながら随時、授業内で発表を行っていただきます。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、新たな資料の検索・検討とリライト作業を続けましょう。
第 11 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	研究論文については主に個人指導となりますが、進行状況を見ながら随時、授業内で発表を行っていただきます。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、新たな資料の検索・検討とリライト作業を続けましょう。
第 12 回	プレゼンテーションと講評	各自のテーマに沿ったプレゼンテーションを行い、教員の講評及びゼミ生全員からの「評価シート」を受け取りましょう。特に 4 年生は 2、3 年のゼミ生の発表について、的確なアドバイスを口頭でより詳しく伝えてください。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備します。 【事後学習】2 時間 授業での指示事項をもとに、プレゼンテーションを練り直しましょう。
第 13 回	改訂版プレゼンテーションの発表及び 研究論文作成に関する質問受付とその対応	前回の内容を踏まえ、改訂版を発表していただきます。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションのブラッシュアップを行ってください。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを基盤にして、研究論文を加筆・訂正しましょう。
第 14 回	研究論文提出と読み合わせ	作成した研究論文を共有設定のドライブにアップロードし、全員の協働で添削作業をしてゆきましょう。 【事前学習】2 時間 研究論文を改訂しておきましょう。 【事後学習】2 時間 授業内での指示事項をもとに、さらにリライトしておきましょう。
第 15 回	研究論文講評	夏休み前の最終授業となります。リライト後の研究論文へ、講評を加えます。 【事前学習】2 時間

		研究論文の改訂作業 【事後学習】2 時間 講評後の見直し
第 16 回	後期授業のイントロダクション	後期授業の課題及び計画について説明・検討します。 【事前学習】2 時間 講評に基づき、休み前のプレゼン及び研究論文のリライトを進めておきましょう。 【事後学習】2 時間 後期授業での研究計画に沿って準備を進めます。
第 17 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 18 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 19 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 20 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 21 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 22 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 23 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 24 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 25 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。

		【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 26 回	全体への講評	全体への講評を行いますので、プレゼンテーションの準備をしましょう。 【事前学習】2 時間 各自の研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 27 回	プレゼンテーションと講評	各自のテーマに沿ったプレゼンテーションを行い、教員の講評及びゼミ生全員からの「評価シート」を受け取りましょう。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備します。 【事後学習】2 時間 授業での指示事項をもとに、プレゼンテーションを練り直しましょう。
第 28 回	改訂版プレゼンテーションの発表及び 研究論文作成に関する質問受付とその対応	前回の内容を踏まえ、改訂版を発表していただきます。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションのブラッシュアップを行ってください。 【事後学習】3 時間 プレゼンテーションを基盤にして、研究論文を加筆・訂正しましょう。
第 29 回	研究論文提出と読み合わせ	作成した研究論文を共有設定のドライブにアップロードし、全員の協働で添削作業をしてゆきましょう。 【事前学習】2 時間 研究論文を改訂しておきましょう。 【事後学習】2 時間 授業内での指示事項をもとに、さらにリライトしておきましょう。
第 30 回	研究論文講評	今年度の最終授業となります。リライト後の研究論文へ、講評を加えます。 【事前学習】2 時間 研究論文の改訂作業 【事後学習】2 時間 講評後の見直しを丁寧に行い、研究論文の最終的な提出に備えてください。

授業形式	
・授業形式は「同時双方向型」とします。 ・質問等のフィードバックは原則として講義内で行うが、レポートの書き方に関する指導などは Gmail 及び添付ファイルなども用いて行います。 ・授業時には随時発表やディスカッションを行うなど、アクティブ・ラーニングを実施します。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	20%	20%	100%
評価の特記事項					
「その他」はプレゼンテーション課題です。前期と後期にそれぞれ、研究論文の素地となるレポートの提出とプレゼンが必須となります。					

テキスト
菊田千春他『大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術』東洋経済新報社，2015 年．
参考文献
授業時にその都度指示します。
オフィスアワー
授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールは講義とは異なり，受動的な姿勢で「聞くだけ」「レポート課題を提出するだけ」では成立しません。当ゼミでは教養研究(一)の段階から，各自のテーマに沿って研究に取りかかっていますが，課題の決定過程や問題の立て方，そして実際にレポート（最終的に研究論文に取り込むもの）を執筆してゆく過程で，常に他のゼミ生と問題意識を共有し，随時ディスカッションを行って，考察を深めていく必要があります。
授業用 URL
参考 URL 1
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/seminar/yasudashizuka/
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	30
担当教員	薮越 知子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 5	単位区分	選
講義室	7063	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 外国語学習ストラテジー（外国語をより効果的・効率的に学ぶための方法や行動）を理解し、説明できる。 2. 外国語学習ストラテジーを自身の外国語学習に応用し、言語能力を高めることができる。 3. 学術論文を読み、調査目的、調査方法、分析結果、考察等を自分の言葉で説明し、まとめることができる。 4. 物事を深く考え、論理的に考えることができる。 対応 D P 及び C P 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
どうすれば、外国語をより効果的・効率的に習得することができるのでしょうか。このゼミでは、外国語学習ストラテジー（外国語をより効果的・効率的に学ぶための方法や行動）について研究し、皆さんの外国語学習に役立ててもらいます。また、外国語学習ストラテジーに関する研究テーマを設定し、調査、分析、考察という一連の作業を通して、論理的思考力の育成をはかります。加えて、ディスカッションをかさねて、物事を深く考え、批判的に見る目も養います。 本講義では、外国語学習ストラテジーに関する研究テーマを設定し、研究を進め、研究論文を執筆していきます。毎回のゼミで研究の進み具合を報告し、ディスカッションの場で疑問点を解決していきます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	前期のイントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 シラバスやゼミナルガイドをよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておく。
第 2 回	研究テーマと章立ての検討 1	各自の研究テーマと章立てを検討する。 【事前学習】2 時間 3 年次の発表内容を見直してまとめる。 【事後学習】2 時間 フィードバックを基に研究テーマと章立てを修正する。
第 3 回	研究テーマと章立ての検討 2	引き続き，各自の研究テーマと章立てを検討する。 【事前学習】2 時間 3 年次の発表内容を見直してまとめる。 【事後学習】2 時間 フィードバックを基に研究テーマと章立てを修正する。
第 4 回	研究テーマと章立ての検討 3	引き続き，各自の研究テーマと章立てを検討する。 【事前学習】2 時間 3 年次の発表内容を見直してまとめる。 【事後学習】2 時間 フィードバックを基に研究テーマと章立てを修正する。
第 5 回	序論の執筆 1	各自，序論を執筆し，進捗状況を報告する。 【事前学習】2 時間 序論の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 フィードバックを基に序論の執筆を進める。
第 6 回	序論の執筆 2	引き続き，各自，序論を執筆し，進捗状況を報告する。 【事前学習】2 時間 序論の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 フィードバックを基に序論の執筆を進める。
第 7 回	序論の執筆 3	引き続き，各自，序論を執筆し，進捗状況を報告する。 【事前学習】2 時間 序論の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 フィードバックを基に序論の執筆を進める。
第 8 回	序論の執筆 4	引き続き，各自，序論を執筆し，進捗状況を報告する。 【事前学習】2 時間 序論の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 フィードバックを基に序論の執筆を進める。
第 9 回	序論の報告 1	各自で序論の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	序論の報告 2	引き続き，各自で序論を報告する。

		【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	序論の報告 3	引き続き、各自で序論を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	序論の報告 4	引き続き、各自で序論を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	序論の報告 5	引き続き、各自で序論を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	序論の報告 6	引き続き、各自で序論を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	まとめと Q/A	これまでの総括をし、後期の発表に向けて、各自の研究テーマを明確化する 【事前学習】2 時間 これまでの発表資料をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 後期の発表に向けて、論文を検索する。
第 16 回	後期のイントロダクションと 2 章の執筆	講義の内容、講義の形式、評価方法、履修上の注意点について説明する。各自、2 章を執筆し、進捗状況を報告する。 【事前学習】2 時間 2 章の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 フィードバックを基に 2 章の執筆を進める。
第 17 回	2 章の執筆	各自、2 章を執筆し、進捗状況を報告する。 【事前学習】2 時間 2 章の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 フィードバックを基に 2 章の執筆を進める。
第 18 回	2 章の報告 1	各自で 2 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	2 章の報告 2	引き続き、各自で 2 章を報告する。

		【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	2 章の報告 3	引き続き、各自で 2 章を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	2 章の報告 4	引き続き、各自で 2 章を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	2 章の報告 5	引き続き、各自で 2 章を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	3 章の報告 1	各自で 3 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	3 章の報告 2	引き続き、各自で 3 章を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	3 章の報告 3	引き続き、各自で 3 章を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	4 章の執筆	各自、4 章を執筆し、進捗状況を報告する。 【事前学習】2 時間 4 章の執筆を進める。 【事後学習】2 時間 フィードバックを基に 4 章の執筆を進める。
第 27 回	4 章の報告 1	各自で 4 章を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。

第 28 回	4 章の報告 2	引き続き、各自で 4 章を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	4 章の報告 3	引き続き、各自で 4 章を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の論文執筆時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	研究成果の報告（まとめ）	これまでの総括をし、各自の研究成果を報告する。 【事前学習】2 時間 これまでの発表資料をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 今後の研究課題を整理する。

授業形式

- ・授業形態は「①同時双方向型(Zoom)」とする。
- ・質問等は講義内で受け付け、フィードバックも原則として講義内に行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	40%	40%	100%
評価の特記事項					
参加，発表・討議，課題提出で総合的に評価します。年間欠席回数が6回に達した場合は単位を認定しません。2回遅刻すると1回の欠席とみなします。					

テキスト
特になし
参考文献
授業中に指示する。
オフィスアワー
水曜日 12:20～12:50。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
欠席する場合は，必ず担当教員に連絡してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	31
担当教員	山岸 郁子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
「日本近代文学とメディア」教養研究（一），教養研究（二）で深めたテーマについて，分析力や課題解決能力を用いてゼミ活動の集大成となる研究論文を作成できる。 対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
以下のポイントを理解し，学術論文を完成させる。 - 論文が形式要件を満たしているか （文章形式（文末、段落）、文献・資料の引用方法、文献リストの形式など） - 研究課題が明確に提示されているか 研究課題が社会問題となる歴史的背景、社会的要請、理論的課題 - 課題に関する論点の必要かつ十分に整理できているか - 課題に対して適切な結論が述べられているか - 論旨が首尾一貫しているか - 結論が客観的な根拠と説得的な論理に裏付けられているか - オリジナリティがあるか

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	「山岸ゼミナール研究論文の書き方」をダウンロードし目を通した上で、自分のテーマを深化させる方法について報告する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 2 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 3 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 4 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 5 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 6 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 7 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 8 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 9 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 10 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 11 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 12 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 13 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察

		した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 14 回	研究課題の設定	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 15 回	進捗状況の報告	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 16 回	研究成果の報告	各自がおこなった調査・実験・アンケート集計などをもとに、各自で分析・考察した結果がきちんとした論文となっているかを確認する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 17 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か、引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 18 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か、引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 19 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か、引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 20 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か、引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 21 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か、引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 22 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か、引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 23 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か、引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 24 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か、引用の仕方などを確認して論文を進める。

		随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 25 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か，引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 26 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か，引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 27 回	研究成果の報告	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か，引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 28 回	最終確認	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か，引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 29 回	最終確認	論文のアウトラインを資料を作成して説明する。 章段は適切か，引用の仕方などを確認して論文を進める。 随時添削を受ける。 【事前学習】2 時間 執筆中の論文の推敲を行う。 【事後学習】2 時間 資料を基に研究課題を検討する。
第 30 回	卒論の発表	テーマについて，何をどこまで考察できたのか，また論文化することでその意図が正確に伝わったのかどうか，他者の意見を仰ぎ客観的に自己評価を行う。 【事前学習】2 時間 論文のアウトラインを資料として作成する 【事後学習】2 時間 自己評価を行う

授業形式
①同時双方型で行う。 質問は授業に随時受け付ける。 ecolink, G メールでも受け付け、1 週間以内に回答する。 授業時間以外でのオンラインによる研究論文相談も受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0.7	0%	0.2	0.1	1
評価の特記事項					
研究論文の内容ばかりではなく、中間発表、コメントへの参画度、添削の頻度などを加え総合的に評価する。					

テキスト
適宜指示する。
参考文献
「山岸ゼミナール研究論文の書き方」を配布する。
オフィスアワー
水曜日 14 時 10 分～16 時 10 分 ※必ずメールにてアポイントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
教養研究（一）・（二）の集大成となるよう、早めにテーマを決定して下さい。 「山岸ゼミナール研究論文の書き方」に目を通し、形式に注意しながら各々で書き進めて下さい。 事前・事後学習に必要な資料は、google classroom に掲出します。 classroom については第 1 回目の授業時に案内します。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	研究論文	クラス	32
担当教員	リチャード パウエル	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	7061	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
To produce an original and independently researched thesis on a chosen topic within the field of language and human rights reflecting the individual interests of the student and the wider interests of the study group. 学生の個人的な興味と研究グループの興味を反映す言語と人権の分野内で独自に研究 対応 DP 及び CP1, 2, 6, 7, 8。
授業概要（教育目的）
In these classes students and the teacher will exchange ideas and demonstrate ways of researching individually chosen topics within the field of language and human rights, produce summaries based on their chose themes, and produce a graduation thesis based on a range of research skills. これらのゼミでは、学生と教師が意見を交換し、言語と人権の分野で個別に選択されたトピックを研究する方法を示し、選択したテーマに基づいて要約を作成し、さまざまな研究スキルに基づいて卒業論文を作成します

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	Rethinking and revising the topic of language and human rights in the real world. 現実世界における言語と人権との課題を再考し、改訂する	研究課題の「言葉と人権」を輪読し、研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 2 回	Selecting a general research topic in the field of language and human rights. 人権と言葉の分野で、一般的な研究トピックの選択	研究テーマの選択ができるようになる。 それを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 3 回	Narrowing the topic to a more specific theme. トピックをより具体的なテーマに絞り込む	研究トピックの絞り込むができるようになる。 それを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 4 回	Forming a research question. 査用問題を作成する	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 5 回	Problematicising and refining the research question. 査用問題を問題化し、洗練する	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 6 回	Making a research plan. 研究計画を立てる	先行研究の収集方法について 研究方法の基礎ツールが使えるようになる。 それを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 7 回	Focused critical reading and note-taking (1). 焦点を絞った批判的読書とメモを取る (1)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 8 回	Focused critical reading and note-taking (2). 焦点を絞った批判的読書とメモを取る (2)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 9 回	Focused critical reading and note-taking (3). 焦点を絞った批判的読書とメモを取る (3)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 10 回	Focused critical reading and note-taking (4). 焦点を絞った批判的読書とメモを取る (4)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する

第 11 回	Focused critical reading and note-taking (4). 焦点を絞った批判的読書とメモを取る (4)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 12 回	Focused critical reading and note-taking (5). 焦点を絞った批判的読書とメモを取る (5)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 13 回	Focused critical reading and note-taking (6). 焦点を絞った批判的読書とメモを取る (6)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 14 回	Writing the literature review (1) 文献レビューを書く (1)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 15 回	Writing the literature review (2) 文献レビューを書く (2)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】3 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 16 回	Research methods: surveys and questionnaires. 調査方法：調査とアンケート (1)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 17 回	Research methods: surveys and questionnaires. 調査方法：調査とアンケート (2)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 18 回	Research methods: interviews. 調査方法：面接 (1)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 19 回	Research methods: interviews. 調査方法：面接 (2)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 20 回	Research methods: observations. 調査方法：見学 (1)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 21 回	Research methods: observations. 調査方法：見学 (2)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 22 回	Writing the section on research methodology. 研究方法論に関するセクションを書く (1)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 23 回	Writing the section on research methodology. 研究方法論に関するセクションを書く (2)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 24 回	Writing the main arguments. 主な議論を書く (1)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する

第 25 回	Writing the main arguments. 主な議論を書く (2)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 26 回	Writing the main arguments. 主な議論を書く (3)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 27 回	Writing the conclusions. 結論を書く (1)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 28 回	Writing the conclusions. 結論を書く (2)	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】3 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 29 回	Writing the bibliography. 参考文献を書く。	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 30 回	Revising and checking the thesis. 論文修正と改訂。	各自で研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する

授業形式
Seminar study and individual study. ゼミの小グループ研究及び自習

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	30%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
卒論を各セクションによる評価					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
原則として水曜日のお昼ですが、前もってメールしてください : richard.powell@nihon-u.ac.jp
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2